

# 首里城がつなぐ 「過去」から「未来」へ…

首里城復興レポートVol. II  
(R6年度まとめ版)

## 目 次

●首里城復元に向けた取組状況	2
●県の首里城復興に向けた取組状況	19
●首里城復興に係る寄附金の状況	44
●これまでの県・国の動向	64



公式ホームページ



公式X（旧Twitter）

# 首里城復元に向けた取組状況

# 首里城復元に向けた取組み

- 令和元年10月31日の火災以降、首里城正殿等の復元に向けて、破損瓦等の撤去や焼失した建物の解体等を進めるとともに、首里城正殿遺構等の一般公開を実施。
- 一般公開をはじめとする「段階的公開」、正殿を皮切りとした「首里城復元」、それらの実施を通した「地域振興・観光振興への貢献」に取り組んでいる。

## 首里城復元に向けた「3本柱」

### —— 段階的公開 ——

首里城復元に向けて進む破損瓦等の撤去や躯体の解体、復元工事の様子を、安全性を確保しながら一般公開を進める。



素屋根見学エリア

### —— 首里城復元 ——

令和8年の首里城正殿の完成に向けて、関係機関と密に連携を図りながら、首里城復元に向けた技術検討委員会での検討を進める。



令和元年度 第3回技術検討委員会

### —— 地域振興・観光振興への貢献 ——

首里城の段階的公開、首里城復元に向けたボランティア活動や公園イベントの開催を通して、沖縄の地域振興・観光振興への貢献に努めていく。



うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア

# 首里城ドローン写真（令和元年11月1日時点）

全焼

一部焼失



令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災（全焼：7棟、一部焼失：2棟）。

# 火災発生後1年目の取組



# 火災発生後2年目の取組

令和3年10月：北側見学通路オープン



令和3年6月：工事用仮設道路設置



令和3年3月：奉神門応急復旧完了



# 火災発生後3年目の取組



# 火災発生後4年目の取組

令和5年9月: 木造軸組建方 開始



令和4年11月: 正殿本体工事起工式開催



令和5年8月: 見学エリアの一般供用



令和5年2月: 木材加工の開始



# 火災発生後5年目の取組

令和6年7月: 赤瓦の搬入・葺き 開始



令和5年12月: 木造軸組建方 完了



令和6年8月: 外壁うるし塗装 本格開始



令和6年5月: 唐破風 取付け



# 首里城ドローン写真（令和6年9月5日時点）



# 正殿復元に向けた仮設施設の整備状況

2021年10月完成

2022年9月完成

2023年8月完成



# 首里城正殿等の復元に向けた工程表

(年度)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査 (大径材)	市場調査							
	設計	基本設計							
		実施設計							
	材料調達 (大径材)			調達・乾燥					
	工事	仮設道路							
北殿、南殿等		がれき撤去		木材倉庫					
				発注手続(WTO)					
					本体工事				
		撤去	正殿復元の施工ヤードとして使用						
		検討						工事	

# 今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

2024

令和6年度

2025

令和7年度

○素屋根、見学者用階段・EV  
の建築

○基礎工事

○木材加工、建方工事開始

○木材の造作工事、木彫刻の  
取り付け

○屋根瓦葺き開始

○塗装工事開始

○外部彩色、内部彩色

○素屋根・木材倉庫解体

○両廊下の整備開始



# 今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

2024

令和6年度

2025

令和7年度

2026

令和8年度

○素屋根、見学者用階段・EV  
の建築

○木材の造作工事、木彫刻の  
取り付け

○外部彩色、内部彩色

○外構工事

○基礎工事

○屋根瓦葺き開始

○素屋根・木材倉庫解体

○正殿・両廊下 完成

○木材加工、建方工事開始

○塗装工事開始

○両廊下の整備開始



# 令和6年度首里城復興祭関連イベント

## 1. 国王・王妃選出大会

日: 令和6年7月28日(日)

場所: 琉球新報ホール

首里城公園が掲げる「見せる復興」を盛り上げ、琉球王国の歴史と文化の魅力を伝えていく役割を担う国王・王妃の選出大会を実施。国王は36名、王妃21名の応募の中から、国王役に知念大河(ちねんたいが)さん、王妃役に志喜屋佑依(しきやゆい)さんが選ばされました。



国王役: 知念大河(右)  
王妃役: 志喜屋佑依(左)

## 2. 首里城復興祭

日: 令和6年11月2日(土)~11月4日(月・振休) 3日間開催

場所: 首里城公園及び公園周辺、国際通り

実施プログラム: ①琉球王朝絵巻行列 ②琉球王朝祭り首里 古式行列 ③国王・王妃出御 ④首里城復興 特別見学ツアー  
⑤琉球芸能公演 ⑥首里城復興祈念ステージ ⑦首里城VR体験 ⑧琉球の泡盛の枡 in 銭蔵

入園者数: 24,048人(3日間合計)

「琉球王朝絵巻行列」では総勢約400人が国際通りを華やかに練り歩き一大絵巻を再現した。また、県民や観光客が琉球文化に触れることができる参加型イベント「いちゃりばちょーで一隊」を新たに導入。伝統的な衣装を身に着け、参加者が演者と一緒に参加することができる交流プログラムを実施した。「琉球王朝祭り首里 古式行列」は首里振興会と連携し、首里城公園から龍潭通り、首里中学校まで練り歩いた。「首里城復興特別見学ツアー」は素屋根内部の見学と専門家による解説が好評で、受付開始から2時間で満員となり、追加開催を望む声が多く寄せられた。



琉球王朝絵巻行列



古式行列



首里城復興祈念ステージ



首里城復興特別見学ツアー

# 首里城正殿復元工事端材の活用

## 1. 端材の無料配布

首里城公園では首里城正殿復元工事で発生した端材の無料配布を、昨年の令和5年11月25日から引き続き、令和6年5月31日まで素屋根内にて行なった。また9月26日より、首里城公園ガイドツアーの参加者へも配布しており、いずれも大好評で、復興についてより関心を高めてもらうことができた。



端材配布コーナー(素屋根内)



配布した3種類の端材



ガイドツアーでの配布の様子

## 2. イベントでの活用（端材を活用したワークショップの実施）

首里城正殿復元工事の端材を効果的に活用すべく、令和6年5月3～5日開催の首里城公園ゴールデンウイーク体験イベントにて、端材を使ったオリジナルのカード立てやペン立てを作る体験を、令和7年1月1～3日開催のお正月イベント「新春の宴」にて、端材にビーズとひもを取り付けたストラップ作り体験を実施した。いずれも定員数を超えるほど大好評で、参加者へものづくり体験と共に、復興についてのPRを行うことができた。



ゴールデンウイークイベント  
端材カード・ペン立て(完成品)



お正月イベント  
端材ストラップ(完成品)



端材ワークショップイベント参加の様子



# 首里城復興の情報発信1

## SNSを活用した広報活動

首里城公園公式Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、YouTubeの4つを運用し、復興の状況や公園イベントをSNSで情報発信している。

首里城公園  
作成者: Shurijo Jigyouka  
1月25日  
【首里城正殿の顔“唐波風（からはふ）の彫刻”完成！！】  
昨日（1/24）、首里城正殿正面の唐波風の彫刻が首里城公園に搬入されました。唐波風上部の龍や火炎宝珠（かえんほうじゅ）等は富山県の井波彫刻（いなみちょうこく）の彫刻士の方々

Facebook

shurijo\_castle\_park  
shurijo\_castle\_park 【首里城正殿の顔“唐波風（からはふ）の彫刻”完成！！】  
昨日（1/24）、首里城正殿正面の唐波風の彫刻が首里城公園に搬入されました。唐波風上部の龍や火炎宝珠（かえんほうじゅ）等は富山県の井波彫刻（いなみちょうこく）の彫刻士の方々 左右に配置される獅子（しじ）は沖縄県立芸術大学の先生方 中央の牡丹唐草文様（ぼたんとうそうもんじょう）は山口大学の先生が担当されました。  
首里城正殿の正面に取り付けられる彫刻であるため、三者とも調査研究に基づき、下絵を描き、粘土で原型を作り、それらを元に試作品をつくって、よりオリジナルに近い復元になるよう

[インサイトを見る](#) [投稿を宣伝](#)

tomoko7136、他1691人が「いいね！」しました  
1月25日

Instagram

首里城公園【公式】  
410 件のポスト  
1/24（金）、首里城正殿正面の唐波風の彫刻が首里城公園に搬入されました  
専門家が調査研究や試作を重ね  
およそ2年かけて完成させました😊  
彩色前ならではの、素材となったヒノキや彫りの美しさをご覧ください  
#見せる復興

X(旧Twitter)

復興はどこまで進んでる?  
【正殿に会いたくて...】  
購入さんに話を聞きました！  
13:28

首里城正殿に会いたくて～Vol.18

YouTube 17

# 首里城復興の情報発信2

## 1. 県外プロモーション

### (1) イオンモール全国巡回パネル展＆ワークショップ

公益財団法人イオンワンパーセントクラブが行う首里城復興支援活動の一環で、11月23日(土)・24日(日)にイオンモール白山(石川県)首里城復興支援展「正殿の端材を使ったワークショップ」を開催。首里城復興に関するパネル展示や動画上映と共に、当財団職員を派遣し、首里城復興をテーマにした正殿端材を活用したワークショップを行い、首里城復興への関心を高めた。



首里城復興に関する瓦やパネルの展示



正殿端材を活用したワークショップの様子



### (2) お城EXPO2024

12月21日(土)、22日(日)に神奈川県パシフィコ横浜ノースで開催された「お城EXPO2024」に、首里城公園ブースを出展した。首里城の歴史概要や復興の様子を紹介するとともに、VRを活用して復元される正殿をリアルに体験できるプログラムを実施した。また、県内の他の出展者と連携し、ブース周遊ツアーやクイズラリーを行うことで、県内グスクのPRおよび周遊促進を図った。



# **県の首里城復興に向けた取組状況**

# 全体概要：首里城復興基本計画(R3.3)の基本施策



## 策定の趣旨

「首里城復興基本計画」は、基本方針で示した主要な施策について、具体的に取り組む際の方向性等を体系的に定め、首里城復興を計画的に推進することを目的としている。

また、県民はじめ多くの人びと、企業・団体等及び行政・大学・関係機関等が、復興基本計画を共有することで、20年、50年先などの未来を見据え、連携・協働して、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代へ継承し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

基本施策	施策展開	主な担当部局
1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1)伝統技術を活用した施設整備 (2)木材、瓦等の調達に向けた取組 (3)復元過程の公開による観光資源としての活用	土木建築部
2. 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1)再発防止に向けた防火設備等の強化 (2)安全性の高い施設管理体制の構築	土木建築部
3. 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1)国営・県営区域の一体的利用 (2)多様で柔軟な施設の活用	土木建築部
4. 文化財等の保全、復元、収集	(1)首里城跡の適正な保全と価値の周知 (2)文化財等の復元、修復及び収集	文化観光スポーツ部 教育庁
5. 伝統技術の活用と継承	(1)伝統的な建築技術の活用と継承 (2)美術工芸における伝統技術の継承	商工労働部 土木建築部 文化観光スポーツ部 教育庁
6. 「新・首里城構想」による歴史まちづくりの推進	(1)歴史を体現できる風格ある都市空間の創出 (2)首里城公園及び周辺地域の段階的整備 (3)交通環境の整備	土木建築部
7. 歴史の継承と資産としての活用	(1)多様で魅力ある観光資源の活用 (2)平和を希求する「沖縄のこころ」の発信 (3)次世代を担う子どもたちへの継承	子ども生活福祉部 文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
8. 琉球文化のルネサンス	(1)多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識 (2)琉球文化の復興と新たな文化の創出 (3)国内外へ向けた琉球文化の発信 (4)琉球文化を活用した産業振興	文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
復興基本計画の着実な推進	(1)関係機関との推進体制の構築 (2)国内外の学術ネットワークとの連携 (3)県民等の継続的な参加による復興 (4)効率的で効果的な復興の推進	土木建築部 関係各部等

# 首里城復元・復興に向けたスケジュール（県）

令和元年度  
(首里城焼失)

令和2年度

令和3年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度以降  
(R8正殿完成)

## 首里城復興基本計画 (R3.3策定 対象期間R2～R13年度末)

首里城復興基金への寄付金受入  
(城郭内焼失施設等の復元)

首里城未来基金※への寄付金受入  
(人材育成、周辺施設整備)

※正式名称：首里城歴史文化継承基金

基本施策1

寄付金を活用した城郭内焼失施設等の復元(首里城復興基金事業)  
(木材・赤瓦の調達、扁額・制作物の復元、復元に係る各種委員会運営 等)

復興イベント、情報発信、県民等参画の取組  
(ナイトタイムコンテンツ、琉球文化発信、県民参画促進の取組、SNS等情報発信 等)

基本施策2

火災再発防止検討  
(再発防止検討委員会運営 等)

首里城公園管理体制構築検討  
(首里城公園管理体制構築検討委員会運営、首里城公園管理体制構築計画策定 等)

基本施策3

首里城公園のさらなる魅力の向上、見せる復興の推進  
(首里城公園全体の魅力向上、施設整備や利用導線、展示や案内機能の充実 等)

基本施策5

寄付金を活用した人材育成の推進  
(首里城歴史文化継承基金事業)

基本施策6

新・首里杜構想に基づく首里城周辺の歴史まちづくり等の推進  
(首里城復興基本計画で新・首里杜構想を策定、首里杜地区整備基本計画策定、首里杜まちづくり推進協議会運営 等)

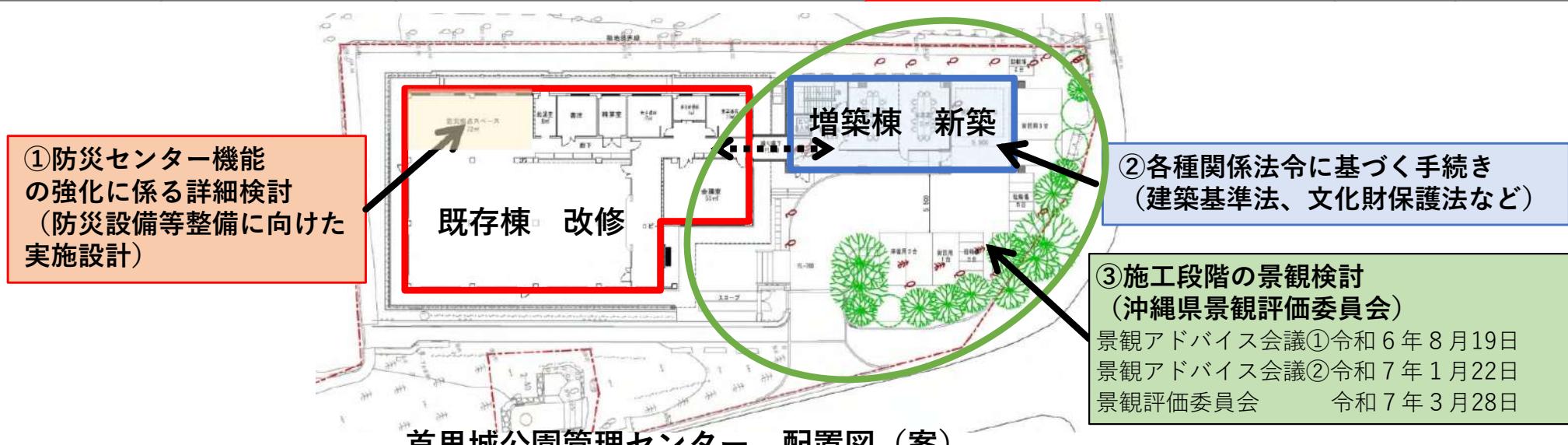
中城御殿跡地整備

(中城御殿跡地整備検討委員会運営、中城御殿整備基本計画改定、中城御殿・松崎馬場整備 等)

# 首里城公園の管理体制構築 「公園管理センター等の増築・改修」

令和6年度は、首里城公園管理センターの増築・改修工事に着手、首里杜館改修工事の発注を行った。また、首里城公園内の防災設備等整備に向けた実施設計業務を行った。

年度 取組	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
管理センター及び首里杜館の増築・改修	整備方針	基本設計	実施設計	防火設備等の詳細検討を反映 増築・改修工事	工事	
防災設備等の整備  火災受信機 監視モニター 放送設備 自家発電設備	防災センター機能の向上の考え方  復元基本方針	正殿単体完成時に向けた 防火設備等の課題の抽出  ※国と県の役割分担等を含む	詳細検討  ※国の検討	管理センター及び首里杜館の実施設計 (建築審査会等を含む)  防災設備等の基本設計等 ※国と県の役割分担等を含む  全体基本計画	管理センター及び首里杜館の増築等工事 (国営公園との連携構築に伴う設備等を除く)  防災設備等の実施設計等 全体基本計画を反映  初動対応の詳細検討を反映	国営公園との連携構築に伴う設備等の整備 (城郭内的情報を奉神門以外への共有)  火災受信機、監視モニター、 放送設備、自家発電設備等の整備



# 首里城公園の管理体制構築「公園管理センターの増築・改修」【概要】



立面図



完成イメージ（正面出入口）



施工中の景観配慮（仮囲いの工夫）

1階会議室（トレーニング室）では、消防訓練等の検証結果から、デモ訓練や機材の種類や形状を確認しておく必要がある以下の設備を導入する。

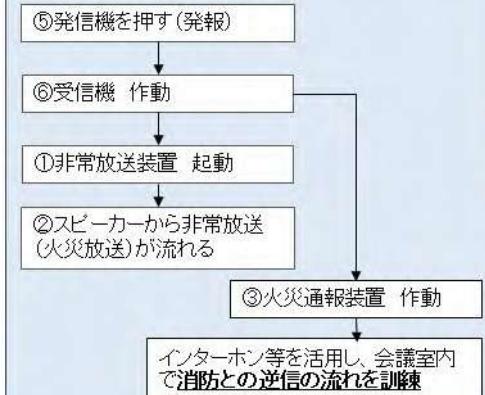
## トレーニング用防災設備一覧

種類	設備機器名
非常放送設備	①壁掛け型非常放送装置 ②壁かけ型スピーカーATT付 ③火災通報装置 ④火災通報専用電話機 ⑤機器収容棚(発信機、表示灯) ⑥GR型受信機
自動火災報知設備	⑦光電アナログ式スポット型感知器(自動試験機能付) ⑧熱アナログ式スポット型感知器(自動試験機能付) ⑨差動式スポット型感知機 ⑩光電式スポット型感知器(2種) ⑪光電式スポット型感知器(3種) ⑫定温式スポット型感知器(1種75°C)
消火設備	⑬屋外消火栓

※ ⑩～⑫はデモ運動なし。感知器の種類や形状を確認する教材として設置。⑬はホースの取り回しを訓練する。



## 【デモの例示 火災断定時】



防災機能強化のための取組（トレーニング室の整備）

# 首里城公園の管理体制構築「防災設備等整備に向けた実施設計概要」

再発防止に向けた防災設備等の強化として、公園全体の防災拠点である**公園管理センター**、県営公園の防災拠点である**首里杜館防災センター**、国営公園の防災拠点である**奉神門管理事務室**の中央監視PC及び監視モニターを連携することにより、相互の防災設備等の作動状況、監視カメラの映像の情報共有・連携の強化を図る。

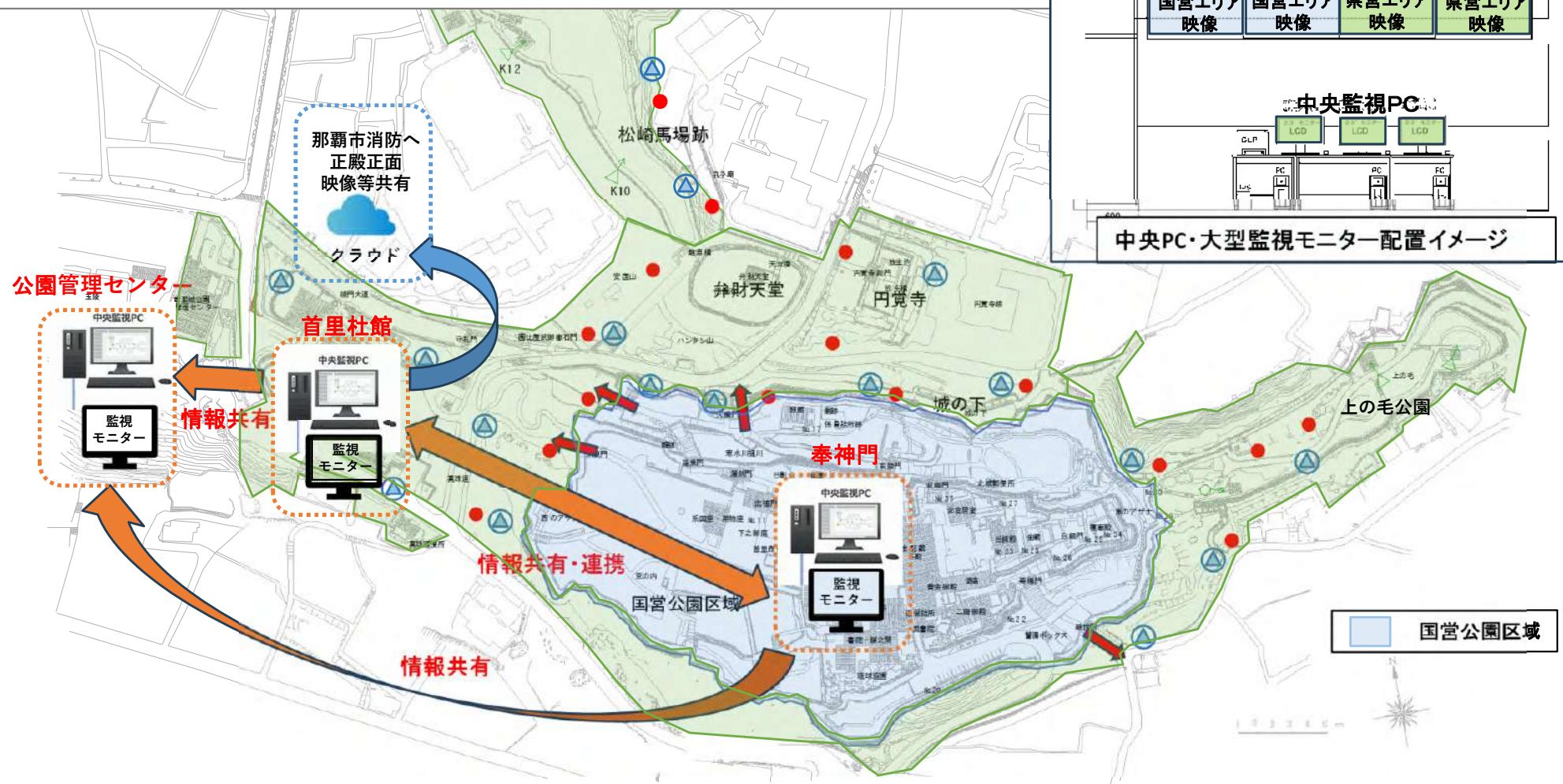
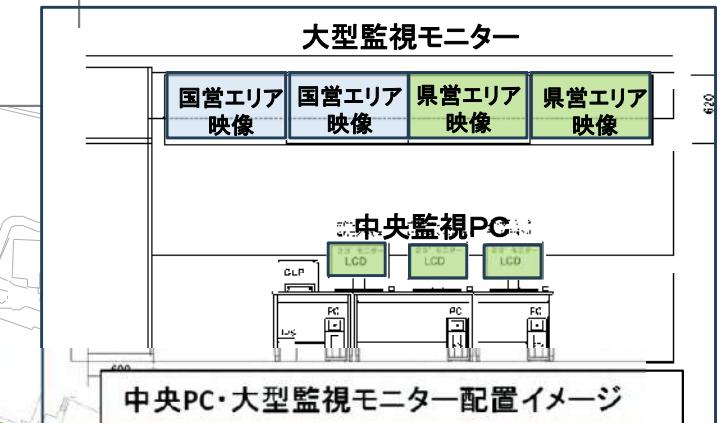
また、監視カメラ映像のうち、正殿正面映像等については、**那覇市消防局へ共有**し、初動対応の連携強化を図る。

**監視カメラ・放送スピーカー**についても**増設**を行い、未然防止・初動対応等の強化を図る。

● : 監視カメラの**増設箇所**

△ : 放送スピーカーの**増設箇所**

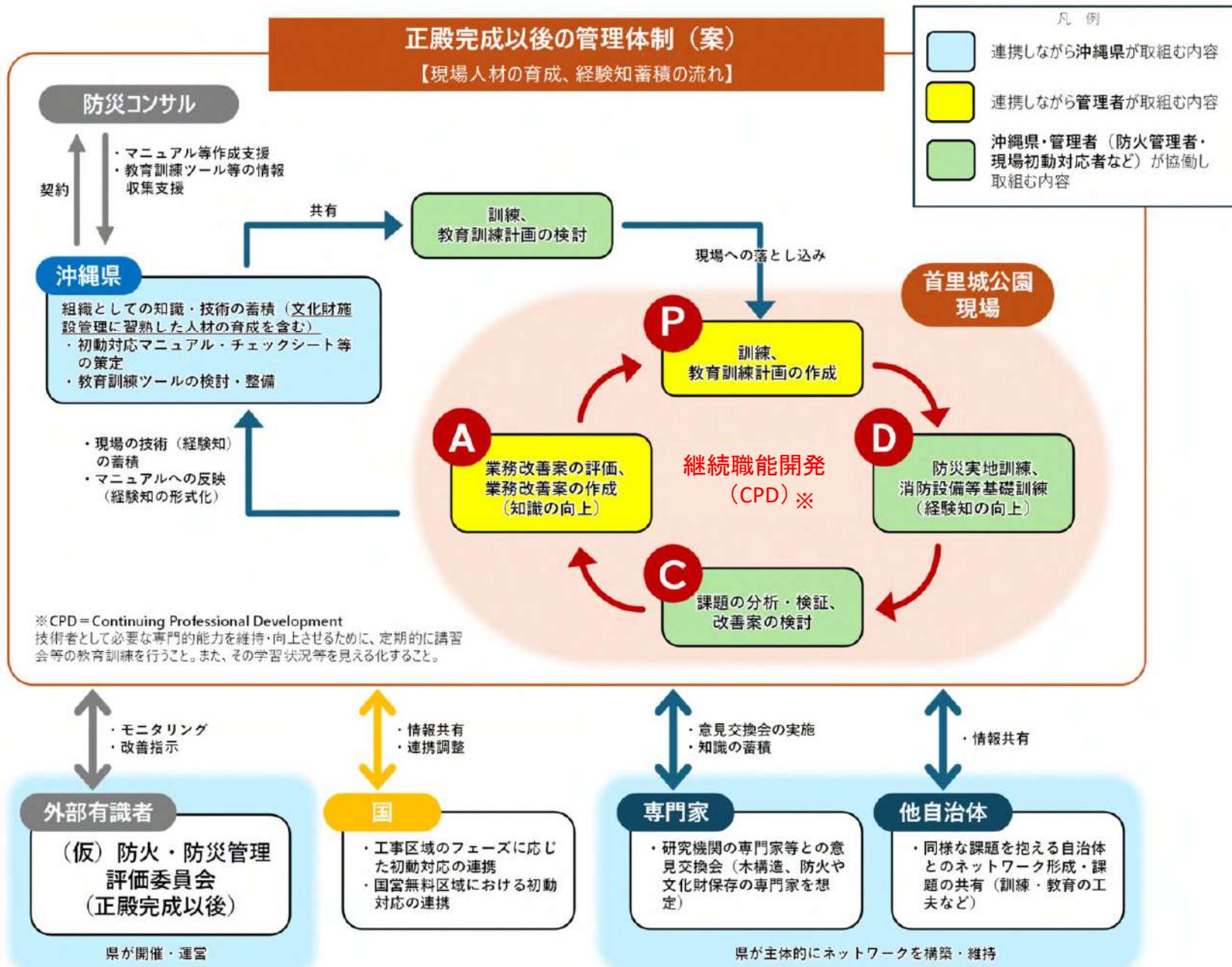
→ : 城郭外への避難経路

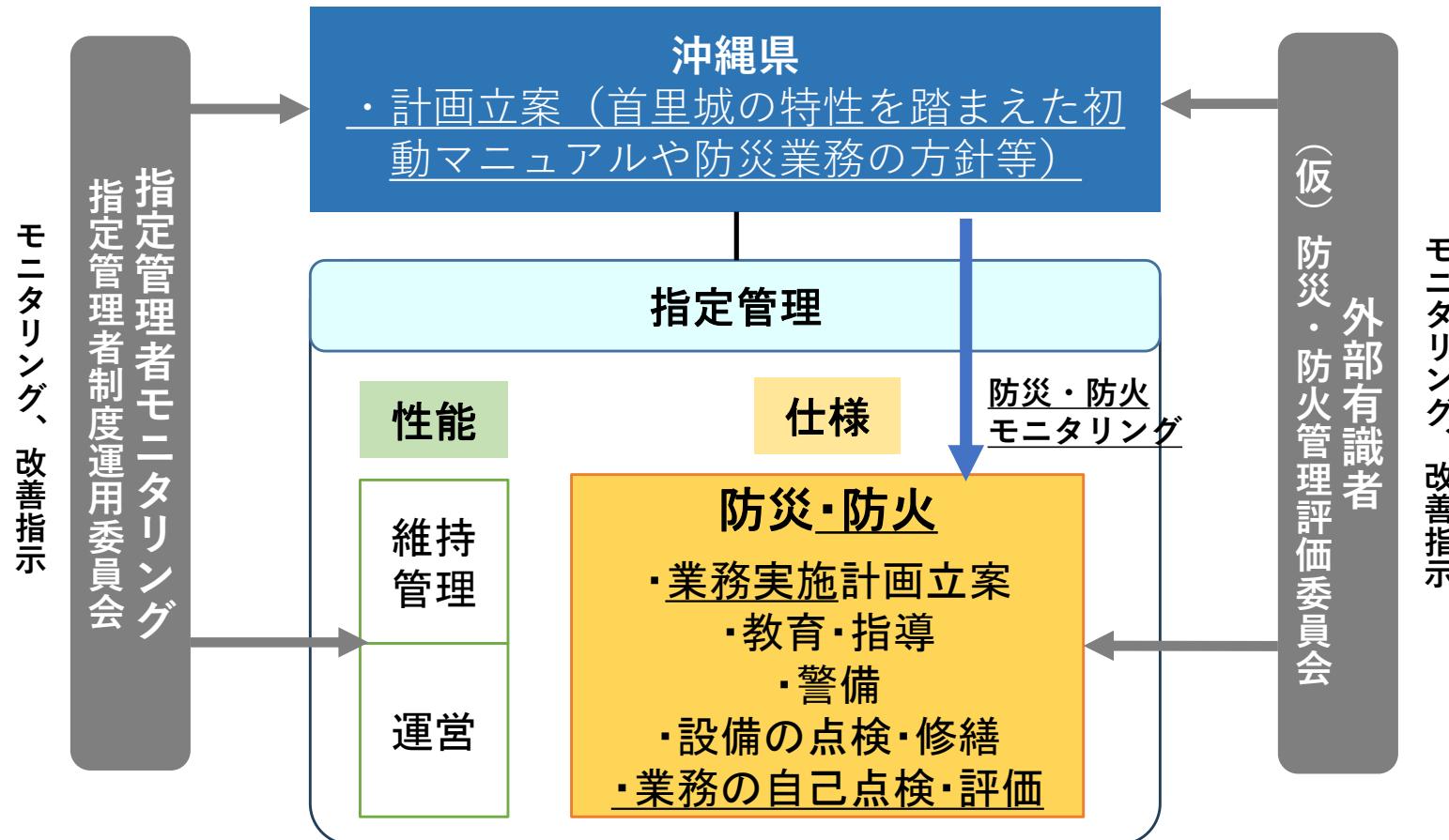


# 首里城公園の管理体制構築 「県が主体的に関わる仕組み」

## 県が主体的に関わる仕組み（案）

首里城公園における防災や防火管理について、沖縄県および現場における人材育成や経験値の蓄積を図る。





- ・指定管理業務の中で、維持管理・運営業務と防災業務を組み合わせて発注する。
- ・防災業務は仕様基準とし、県が主体性を持って取り組むとともに予算の見える化を行う。
- ・業務は同一事業者が担う。
- ・県による防災・防火モニタリングを実施し、仕様に基づき業務を遂行しているか確認を行う。
- ・防災業務については第三者委員会の委員による年複数回の現地確認などにより緊張感の維持に努める。

# 首里杜館-復興展示室の改修について

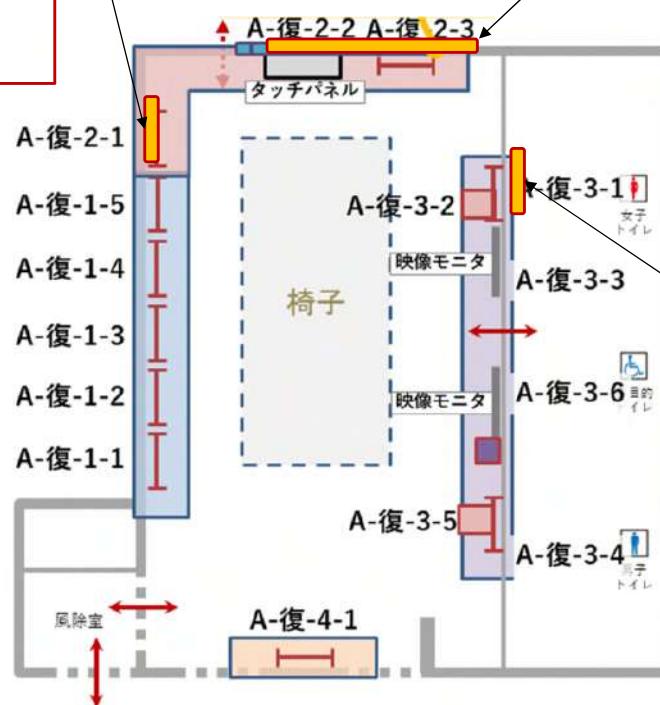


復興正殿復興状況の深堀  
寄附金を活用した  
制作物(試作品等)の実物展示



復興に関する技術の発信

寄附金を活用した制作物に関する  
技術を動画で紹介(当年度)



復興正殿復興状況の深堀

寄附金を活用した制作物に関する  
技術を動画で紹介(過年度)

# 首里城公園のライトアップ照明設置工事の概要①



## 琉球王国の栄華を誇る光景をつくる

夜間の安全性を確保するとともに、歴史の認識向上や周辺の商業、観光・リゾートを振興させ、地域の生活文化をより創造的なものへと育むことが求められます。本事業では、**首里城の風格を演出する**とともに、良好な夜間景観形成に向けて、照らすべき対象物の抽出とコンセプトの考え方を示し、実現に向けて具体的な照明計画を行います。首里城の城郭や外苑を彩る光により、首里城再建や古都首里のまちづくりにおける先導的な景観形成の役割を担う、魅力ある夜間景観の創出を目指します。

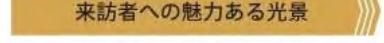
## 首里城外郭の歴史と特徴



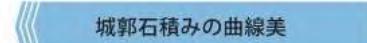
## 首里城公園における景観照明の考え方



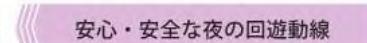
首里城公園



夜の観光拠点となる魅力ある光景を創出し  
昼間とは異なる二面性を演出することで  
首里城公園を核とするまちづくりに寄与する



優美な曲線を描く琉球石灰岩の柔らかな表情を活かして、首里城の繊細で美しい光景を創出



回遊動線は安全に散策ができる夜間景観を創出し、来園者の視線を誘導する分かりやすい足元照明を計画する



重要な城門が点在し、優美な石積みが連続する琉球王国の歴史を感じるピューポイント

歴史の道や誘導・散策動線を回遊しながら  
城郭の表情の変化が楽しめるビューポイント

龍潭の世持橋や周辺高台から首里城が見える象徴的なまち並みとして眺めるピューポイント



## 目指すべき光環境の3つのビジョン

首里城公園の歴史や特徴、ピューポイントを踏まえ、夜間景観形成における光環境の3つのビジョンを示します



### ① 琉球王国の栄華を誇る 沖縄のシンボルとなる光景



② 城郭の構造的な美しさを魅せる  
光の陰影を活かす照明デザイン



### ③ 誰もが分かりやすい視線誘導の 安心・安全のための光環境

# 首里城公園のライトアップ照明設置工事の概要②



守礼門①



守礼門②



久慶門周辺



歓会門周辺



木曳門前芝生広場



首里杜館前広場

## 照明デザイン及び照明手法の考え方

光のコントラストやグラデーションを活かした照明デザインを行い、城郭の特徴や繊細な表情を演出します。照明器具はグレアに配慮し、先進 LED 技術を積極的に活用。最小の器具で最大の照明効果を目指します。



## 無線照明制御システムの考え方

公園内の全ての照明を一括管理できる無線照明制御技術を活用し、将来的な拡張や連携にも対応可能な先進のシステムを構築します。



園比屋武御嶽石門

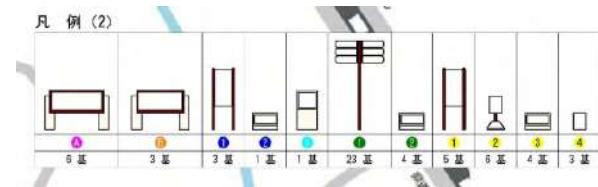
# 首里城公園県営区域サイン整備について

## ＜業務目的＞

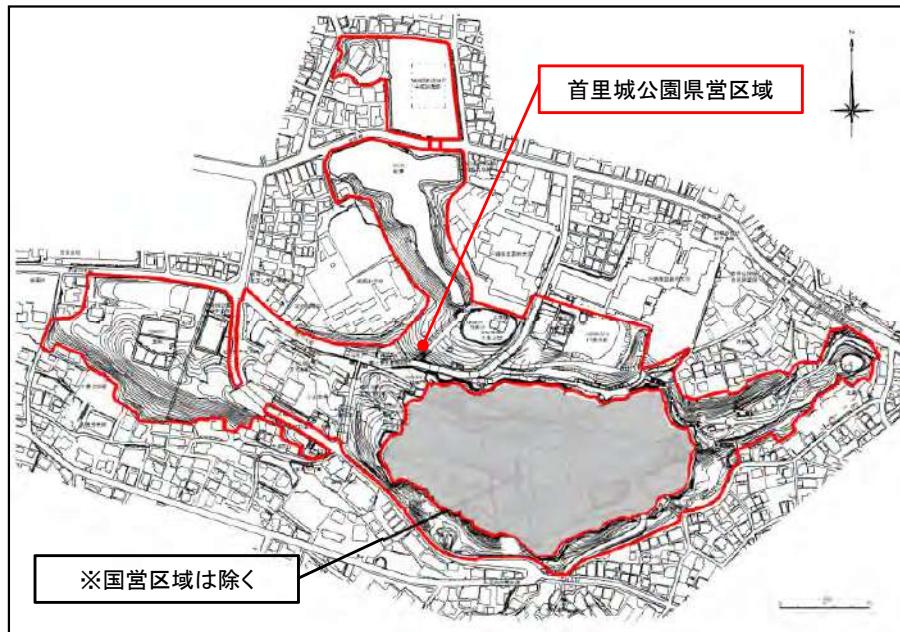
本業務は、首里城公園県営区域における案内サインについて、園内施設の整備に伴う来園者の移動動線の変化及び、近年増加している外国人来園者への対応を含め、公園利用者の利便性向上のための案内サイン計画を検討するものである。

## ＜基本方針＞

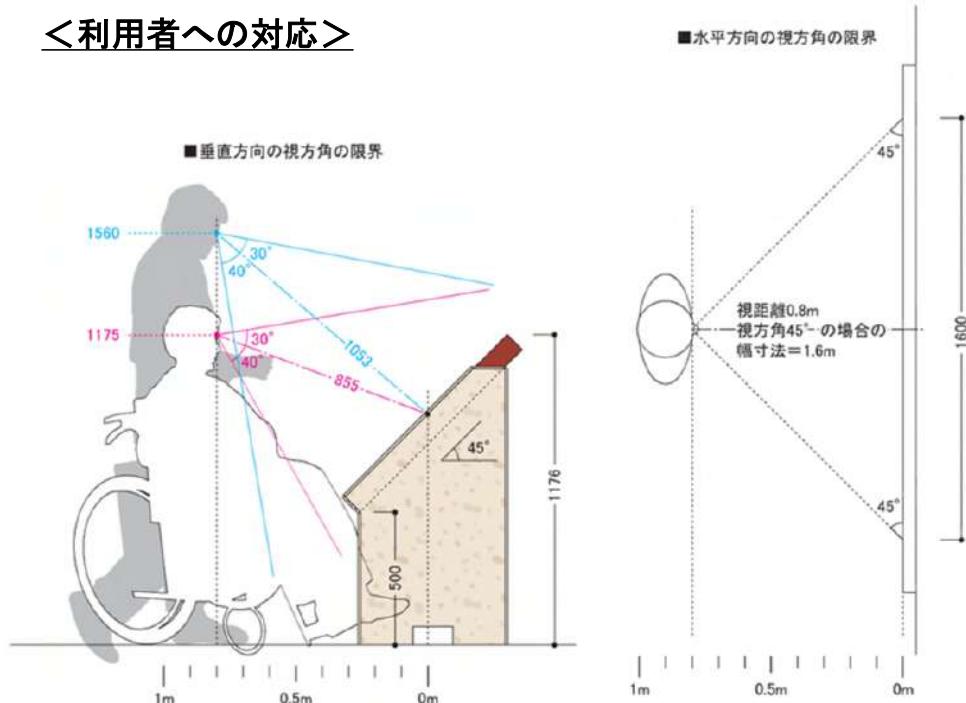
- ・維持管理を考慮し、環境に適した耐久性のある材料の活用を図る。
- ・利用者にとって見つけやすく、わかりやすい、視認性に配慮したサインの配置を検討する。
- ・デザインは、国営区域のサインマニュアルを基本とするが、公園内の周辺景観に配慮したデザインとなるよう工夫を図る。
- ・QRコードによる情報発信を取り入れるなど、情報過多による分かりづらさや読みづらさの改善を図る。
- ・ユニバーサルデザインへの対応を検討する。
- ・文化財指定区域内への設置に配慮した設置方法(本体デザイン)を検討する。



## ＜業務位置図＞



## ＜利用者への対応＞

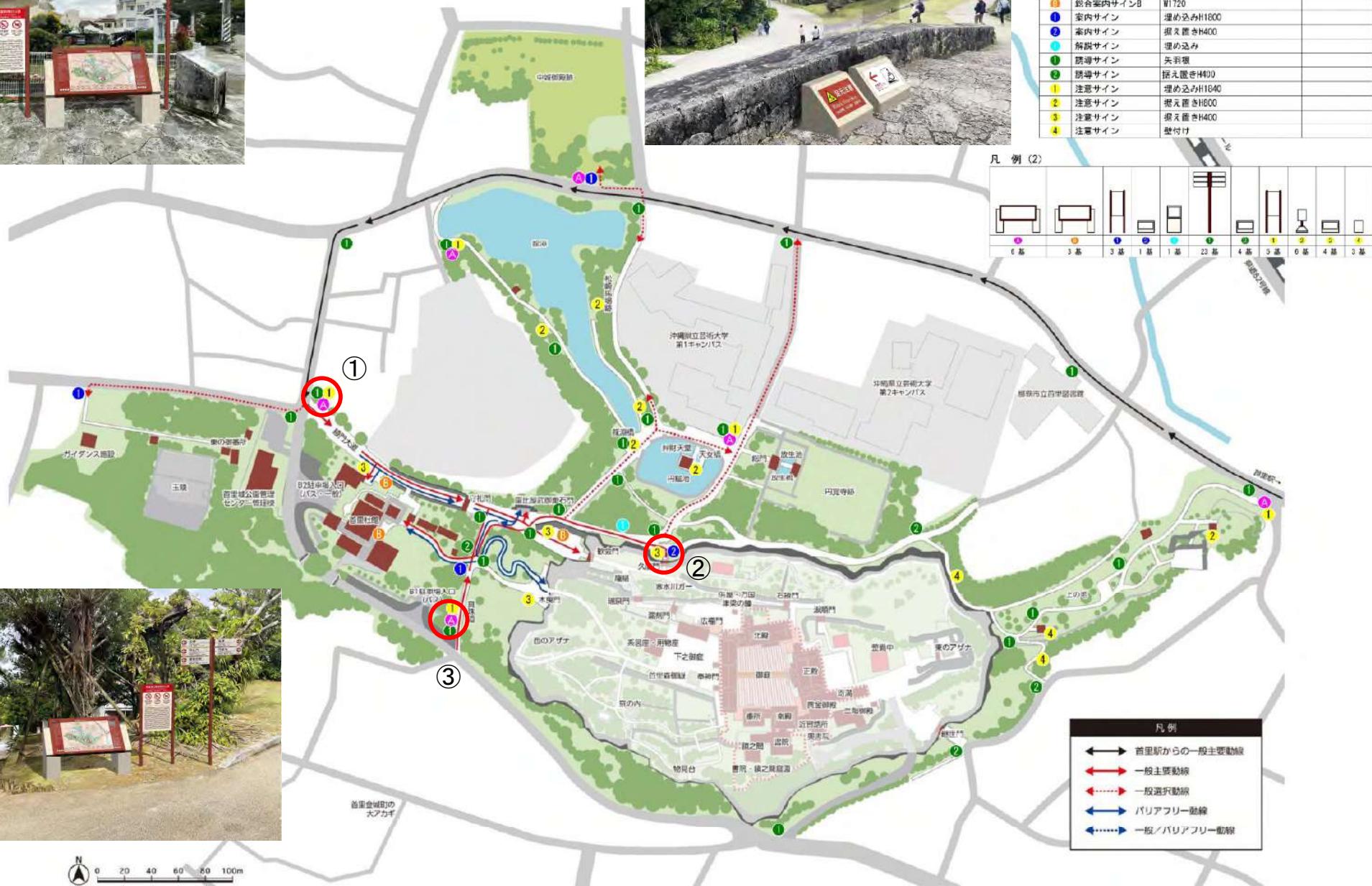


## 首里城公園県営区域サイン整備について



全サイン配置図

記号	規則	規格	備考
①	総合案内サイン	W1900	
②	総合案内サインB	W1720	
③	室内サイン	埋め込みH1800	
④	室内サイン	据え置きH400	
⑤	解説サイン	壁の込み	
⑥	説導サイン	矢羽根	
⑦	説導サイン	据え置きH400	
⑧	注意サイン	埋め込みH1840	
⑨	注意サイン	据え置きH800	
⑩	注意サイン	据え置きH400	
⑪	注意サイン	壁付け	



# 中城御殿跡地整備の概要

## 【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取り図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

## 【事業実施場所】

旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

## 【規模・総事業費】

敷地面積：約11,330m<sup>2</sup>

延べ床面積：約3,870m<sup>2</sup> (RC造3,030m<sup>2</sup>、木造840m<sup>2</sup>)

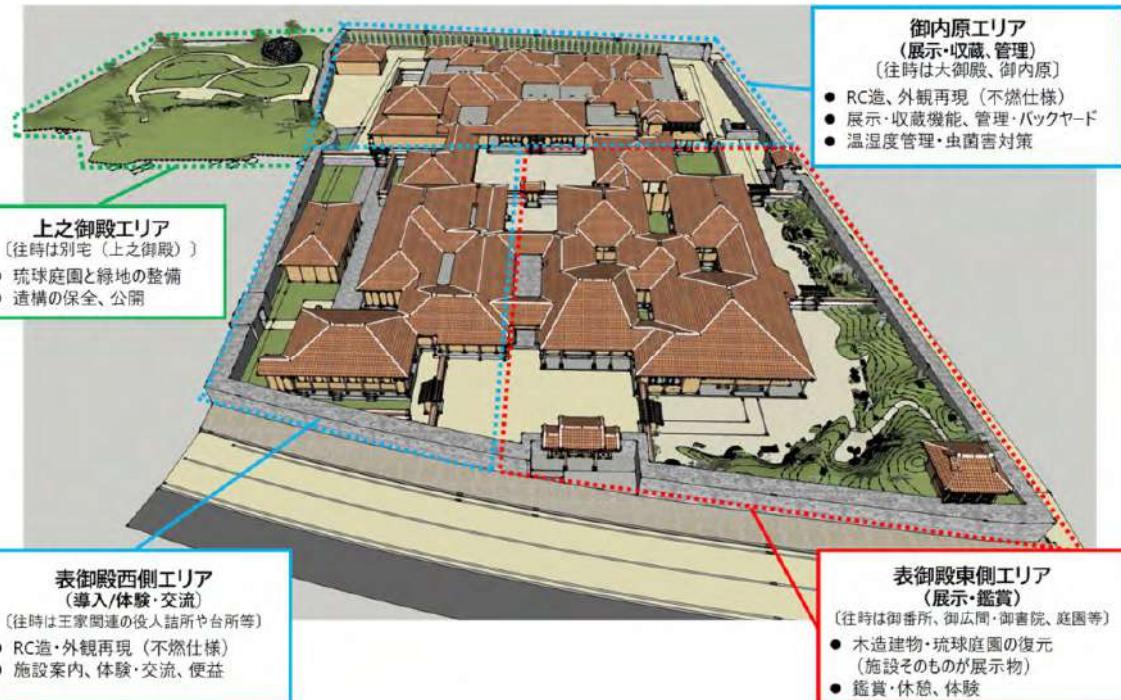
## 【令和3年度整備基本計画改定の概要】

- 首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
- ①展示収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
- ②施設全体の防災・防火対策の強化
- ③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

## 【中城御殿整備スケジュール（案）】

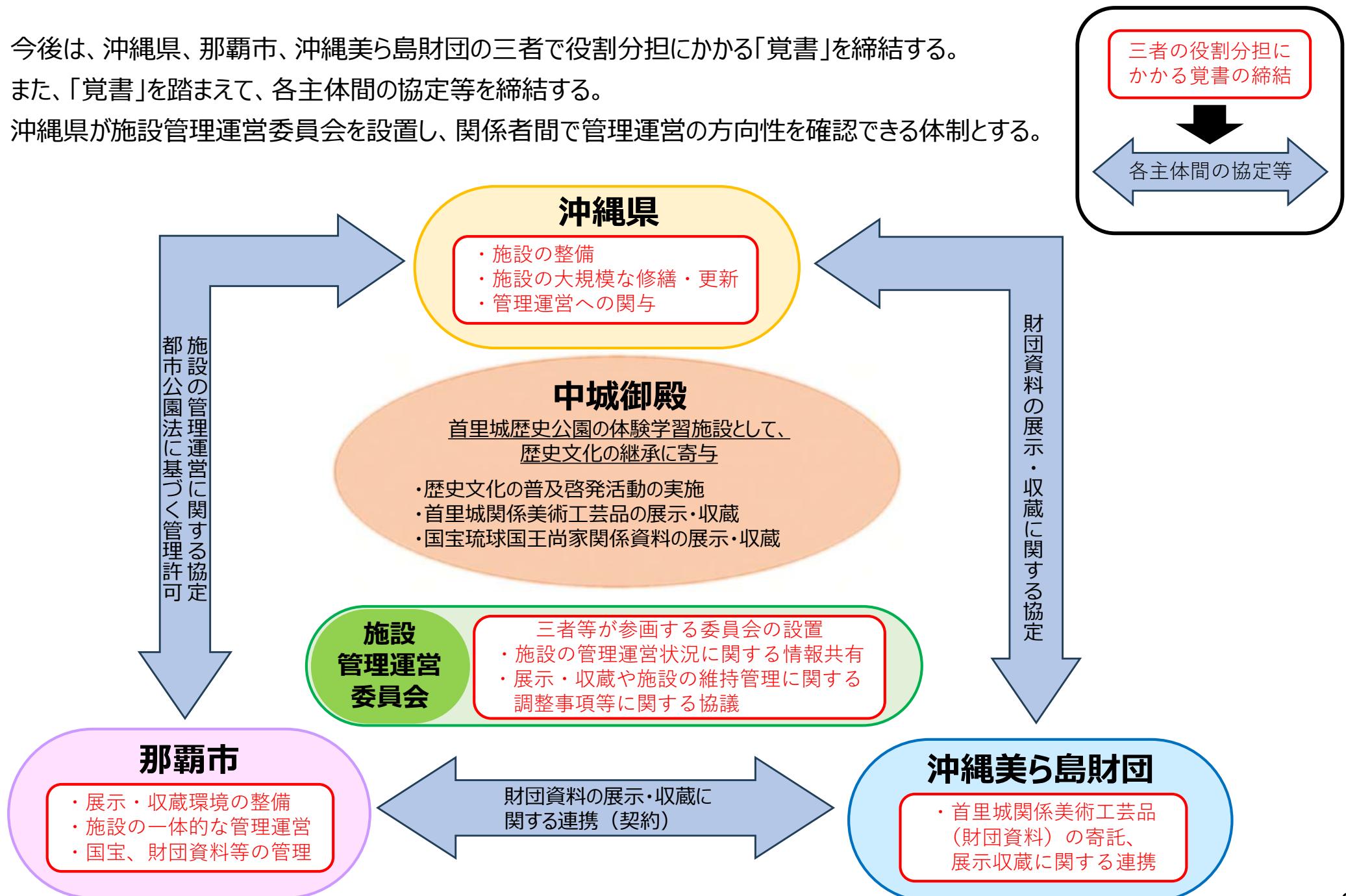
項目	事業	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
			実施設計 発注手續 (WTO)			工事		正殿完成				
城郭内	正殿復元	国営公園事業										
	松崎馬場など龍潭周辺整備	社会資本整備総合交付金事業（公園事業）			松崎馬場など龍潭周辺整備 調整、設計		工事		公開（供用開始）			
中城御殿	【第1期工事】 上之御殿（庭園・広場）	社会資本整備総合交付金事業（公園事業）	基本計画改定		上之御殿 設計		工事		公開（供用開始）			
	【第2期工事】 御内原表御殿西側（RC造）	社会資本整備総合交付金事業（公園事業）			御内原・表御殿西側 設計		工事		公開（供用開始）			
	【第3期工事】 表御殿東側（木造復元）	事業化に向け引き続き調整					表御殿東側 設計			木材調達、本体工事		

## 中城御殿イメージパース



# 中城御殿跡地整備の概要（管理体制・役割分担）

- 今後は、沖縄県、那覇市、沖縄美ら島財団の三者で役割分担にかかる「覚書」を締結する。
- また、「覚書」を踏まえて、各主体間の協定等を締結する。
- 沖縄県が施設管理運営委員会を設置し、関係者間で管理運営の方向性を確認できる体制とする。



# 中城御殿跡地整備の概要（中城御殿起工式・覚書調印式）

【目的】 中城御殿の事業の開始を広く情報発信することや、関係者（沖縄県、那覇市、沖縄美ら島財団）間の整備及び管理運営に係る役割分担について文書を取り交わし、その内容を広く情報発信することで首里城復興の気運醸成を図る

【開催日時】 令和6年11月2日（土）16:30～17:30

【整備イメージ】



【開催場所】 首里城公園中城御殿跡地（那覇市首里）

【写真】覚書調印式



【参加者】 池田副知事（知事の代理）

那覇市長、

一般財団法人沖縄美ら島財団理事長

中城御殿跡地整備検討委員長

【来賓】 国土交通副大臣、内閣府大臣政務官、

県関係国會議員、

県議会議員（那覇市・南部離島選出）、

市議会議員（会派代表等）、尚家関係者

【招待者】 国（沖縄総合事務局）

地元まちづくり6団体、地元16自治会長

【次第】 1.開式の儀

2.式辞（知事）

3.事業概要及び覚書説明

4.覚書調印（知事、市長、理事長、委員長）

5.関係者挨拶（市長、理事長、委員長）

6.来賓祝辞

①国土交通副大臣

②内閣府大臣政務官

③県議会議長

④那覇市議会議長

⑤首里杜地区まちづくり団体連絡協議会

7.来賓紹介

8.事業開始式（くす玉開披）

9.閉会の儀

【写真】事業開始式



# 中城御殿上之御殿エリア（第一期工事 R5～）の整備方針

往時の立岩周辺の写真



遺構写真（上之御殿庭園遺構）



整備計画イメージパース



## 北側アプローチ

- ・上之御殿エリアからの緊急時避難経路として、北側に階段を設ける。
- ・階段及び擁壁の外観は、中城御殿の景観に馴染む仕上げを行うものとする。
- ・発掘調査にて遺構が検出された場合は、検出遺構を基に計画を見直すものとする。

## 西側の段差

- ・エリア西側の石積み遺構等は保全する。
- ・段差があった往時の地形（段差）を表現するため、新規石積を設置する。

## 園路・植栽

### 【園路】

- ・来訪者が自由に空間を味わう広場とし、園路は整備しない方針とする。

### 【植栽】

- ・遺構が確認されている旧階段や庭園周辺などのエリア（南側・東側）は抑制的な植栽とし、新たな擁壁や造成を行うエリア（西側・北側）は修景植栽や遮蔽植栽を検討する。

## 立岩（ガジュマルの挙所）周辺

- ・整備の根拠となる資料が少ないため、今回は復元的整備は行わないものとし、外周に来園者の安全や遺構保護を目的とした進入禁止柵を設置する。

## 東側の石積

- ・東側の残存石積は、修理し、活用する。
- ・石積がない箇所は新たに石積擁壁を整備する。外観の仕上げについては景観に馴染むよう配慮する。
- ・石積の高さは、古写真の分析等により推定する。

## 石階段

- ・遺構を修理し、活用する。
- ・広場の計画高にあわせるため、旧階段と同様な蹴上と踏み幅の階段を新たに2段設置する。

## 庭園遺構

- ・上之御殿庭園は、将来の文化財指定の支障とならないよう、整備は最小限とする。

# 龍潭周辺整備（松崎馬場跡）の整備方針

## 松崎馬場跡の整備方針

- 首里城正殿及び中城御殿の整備工程を踏まえ、令和8年度までに松崎馬場の空間を整備する。
- 宿道上の遺構の保全、公開、活用等の方針は中長期的な視野で検討するため、遺構の真上を避けた位置に園路を整備する。

## 【園路整備の方針】

- 園路(宿道)は、令和8年度までの供用開始に向け暫定的なルートでの整備とする。
- 園路整備では、中城御殿と公園中心部を結ぶ来園者や管理車両等の通行機能を確保する。
- 園路は、師範学校時代の石垣や芸大石積を迂回したルートとする。
- 園路整備にあたっては、宿道(松崎馬場)の歴史的風致景観や世持橋からの景観に留意する。
- 園路幅員は、試掘調査で検出された宿道遺構の舗装幅員の4.0mを基本とする。
- 園路沿いで転落の恐れのある箇所については、安全対策を講ずるものとする。
- 園路沿いの芸大境界側には築山・植栽帯を設け、芸大駐車場からの雨水等を受ける側溝を設ける。

## 【広場整備の方針】

- 利用者の休憩や歴史学習への活用を想定し、国学・首里聖廟石垣前と松崎(龍潭突出箇所)附近、園路中間付近に広場を配置する。
- 周辺施設の景観や遺構に留意するとともに、広場の機能を考慮した整備を行う。



松崎馬場植栽等計画図



松崎馬場のイメージ

出典：NPO法人首里まちづくり研究会ホームページ



『中山傳信錄』の「重陽宴図」（1719年冊封）  
琉球大学



# 首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要

## ○目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などをとりまとめた計画である。



## ○計画期間

- ・計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。
- ・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

## ○計画の特徴

計画の各取り組みについては、**具体的なロードマップ**を整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに**関連する施策や事業をパッケージ化**した点が特徴である。

## ○計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「首里杜まちづくり推進協議会」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施。令和6年度は、京都伏見稻荷まちづくり協議会による講演会、地域の「道」「地域資源」に関するワークショップなどを行った。

## ○取り組みロードマップ(一部抜粋)

方針	中項目	小項目	取り組みNo	継続 or 新規	事業	事業主体	前 期 (5年)					後 期 (5年)	
							2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027~2031年度	
							令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9~13年度	
(1)古都首里を感じられる空間の創出	①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県（道路管理課）	調査（文化財）	設計	工事			2026(令和8)年 首里城正殿完成予定	
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県（都市計画・モノレール課）	景観アセスメント対象事業の選定・実施						
	③共創の景観まちづくりの推進	地域人材の育成	11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県（都市計画・モノレール課）	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等						
(2)歴史文化資源等の保全・整備・活用	①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県（女性力・平和推進課）	有識者委員会における検討						
			16	継続・新	中城御殿跡地整備	県（首里城復興課・都市公園課）	設計	工事					
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県（文化財課）	工事						
			18	継続・新	龍潭周辺整備（松崎馬場、世持橋等）	県（首里城復興課・都市公園課）	調査・設計	工事等（順次実施）					
			20-1	新	指定文化財周辺の環境整備（南城郭、繼世門等の修復保全）	県（文化財課）	調査・設計・工事等（順次実施）						
	③歴史文化資源の魅力向上・活用や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県（首里城復興課）	取り組み方針の検討	調査・設計	整備等（順次実施）				
		主要渋滞箇所の対策	22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県（道路街路課）	交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施（順次実施）、効果検証						

# 首里杜まちづくり推進協議会（令和4年9月設立）の活動概要

## 令和6年度テーマ活動状況



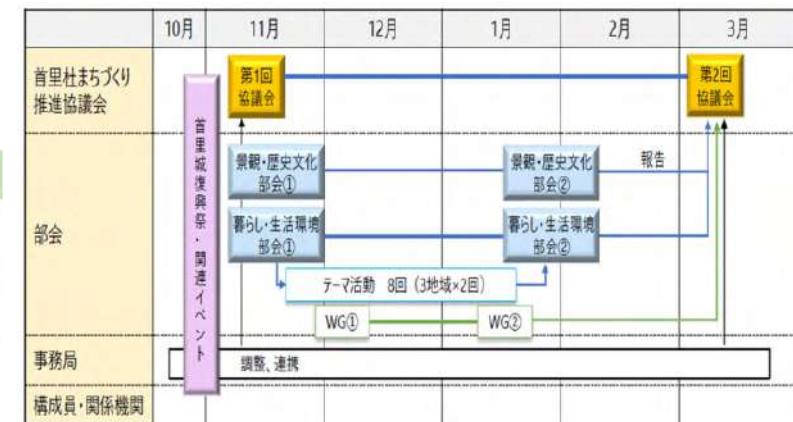
### 2. 部会からの報告——周遊の基本ルート（案）



## 令和6年度の活動概要

- ①各主体が進める事業の内容確認／進捗確認
- ②部会におけるテーマ別活動の推進
- ③持続可能な観光ワーキンググループにおける検討
- ④首里杜地区のまちづくりや協議会に関する情報発信

### ➤ 令和6年度スケジュール



### ➤ 協議会構成員一覧

構成員分類	構成員
(1)地域	地域住民・団体 など
(2)事業者	地域に所在する観光・商工・交通に関連する事業者、NPO、社団法人 など
(3)学術機関、専門家、団体	バス・タクシーなど公共交通関連事業、観光DXなどの関連テーマを推進する団体・事業者 など
(4)行政	地区や取組に関連する学術機関や専門家グループなど
(5)その他必要	国、県、市
	首里城公園管理者 など

# 「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」概要

## ● 主な現状、問題点

- ・首里城公園周辺道路の渋滞
- ・施設の混雑

## ● 対策事業の考え方

- ・時間と場所の分散を対策の軸として、駐車場満空情報や予約状況の見える化などを実施する
- ・公園内の特定エリアへの観光客集中による快適な観光への影響や群衆事故の発生を未然防止する
- ・日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用し、地域体制の強化を図る

### 観光客の分散・平準化

#### 対策事業 | ①予約状況を見える化するためのバス予約システムの構築

- ・予約状況の見える化とQRコード入場システムを構築した

#### 対策事業 | ②首里城公園駐車場とあわせた周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信システム及びWebサイトの構築

- ・周辺駐車場の満空情報をHPで発信できるようシステムを構築した

#### 対策事業 | ③首里城公園駐車場の満空情報を発信するためのwebサイト構築、道路サイネージの設置

- ・情報発信に伴う手続きの簡素化しリアルタイムでの発信
- ・道路サイネージ設置

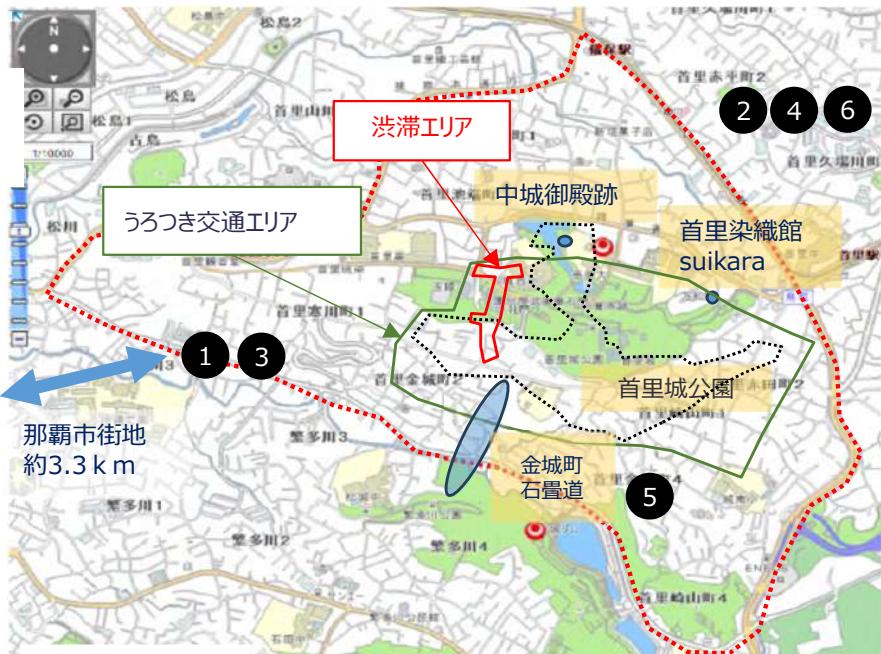


#### 対策事業 | ④近距離モビリティ実証実験

- ・R6.12～R7.1の2か月間 実証実験を実施した

## ● 問題の背景、要因

- ・特定時間（午前中）への集中
- ・特定場所（首里城のみ）への集中
- ・観光と市民の生活圏の重複



### 需要の適切な管理

#### 対策事業 | ⑤人流解析基礎データ情報を取得するための機器の設置

- ・人流解析機器の設置と混雑状況を発信するためのサイネージを設置した



### 調査・分析

#### 対策事業 | ⑥JSTS-Dを活用したデータ収集・分析等

- ・GSTCトレーニング修了証明書を取得し、7つの指標案の作成をおこなった

## 県民等の復興への参画促進への取組（ナンバープレート導入）

県では、「地方版図柄入りナンバープレート」の制度を活用し、首里城復興への願いを込めて、「首里城」を取り入れたデザインの自動車ナンバープレートの普及促進を図っている。（令和5年10月から交付スタート）令和7年1月末時点で約12,800枚の申込がある。

カラー版を選択した際の寄付金により、公益財団法人日本デザインナンバー財団から令和6年度首里城公園のイベント「首里の朝市」の助成が行われた。



カラー版



モノクロ版



令和5年10月23日  
首里城ナンバープレート  
交付記念イベントを実施



令和6年10月6日 首里の朝市(首里城公園)

# 県民等の復興への参画促進への取組(首里城復興「お出かけ講座」)

## 事業概要

首里城に象徴される琉球の歴史・文化を次世代へ継承するため、児童、生徒が復興を通して学ぶことのできる機会として出前講座と首里城正殿工事の際に生じた木材の端材を活用したモノづくりイベント（かんな削り・スマホスタンド作成）を実施。

商業施設で4回、小・中・高校で計6回（合計10回）実施

## 実施日・参加人数

場所	日付・曜日	講座	かんな削り	スマホスタンド作成
商業施設（南部）	11/24・日	62名	40名	64名
商業施設（中部）	11/30・日	46名	72名	61名
商業施設（北部）	1/26・日	107名	39名	60名
久米島	2/16・日	45名	54名	38名
計		260名	205名	223名

場所	日付・曜日	講座・かんな削り	スマホスタンド作成
高校（中部）	12/18・水	104名	60名
小学校（北部）	1/15・水	24名	24名
中学校（南部）	1/21・水	100名	100名
高校（南部）	2/19・水	20名	20名
中学校（南部）	2/21・金	106名	111名
小学校（北部）	2/25・火	13名	14名
計		367名	329名

## 首里城復興「お出かけ講座」の様子



久米島での実施



高校での実施



かんな削り体験の様子

# 令和6年度 県民等の復興への参画促進の取組（シンポジウム開催）

沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学共催  
第21回  
琉大未来共創フォーラム  
首里城再興  
学術ネットワーク  
シンポジウム2024  
～令和の復元ができる新しいこと～

令和6年  
日時 10月14日 [月・祝]  
13:00 ▶ 17:20 (12:30 開場)

会場 沖縄県立博物館・美術館 (おきみゅー)  
沖縄県那覇市 おもろまち3丁目1番1号

参加費無料  
事前申込制  
お申込みはこちらから

△プログラム (予定) ハistorical・cultural・educational activities related to Shuri Castle will be shared.

13:00	開会挨拶 (沖縄県立芸術大学 副学長 久万田晋)
13:05	第一部 基調講演 安里進氏「令和の首里城復元へ新たな知見への対応」 藤井恵介氏「再建首里城の価値とこれから」
14:30	第二部 口頭発表 (2題) 小林理気氏「自然科学的データを含む文化財デジタルアーカイブのあり方と活用方法」
15:15	第三部：ポスターセッション (発表 13題)
16:20	第四部 パネルディスカッション 「令和の復元ができる新しいこと」
17:15	閉会挨拶 (琉球大学長 西田謙)

協力：NPO法人首里まちづくり研究会、SCSK株式会社  
後援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー  
問い合わせ先：琉球大学総合企画戦略部 地域連携推進課  
Mail : chikikaku@ncls.u-ryukyu.ac.jp フォーラム2日前～当日のお問い合わせは対応いたしかねますのでご了承ください。

詳しくは  
琉大 地域連携  
検索

県、琉球大学、県立芸術大学の三者共催により、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化復興に関するシンポジウムを開催。

【日時】 令和6年10月14日(月・祝日)

【会場】 沖縄県立博物館・美術館

(シンポジウムの様子を琉球大学地域連携推進機構 YouTubeチャンネルにてアーカイブ配信)



YouTubeリンク →



基調講演



ポスターセッション



パネルディスカッション

# 令和6年度 首里城復興イベント概要

首里城への来訪を推進し、その着実な復興の状況を共有することを目的に、首里城の復元及び象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会を創出し、その魅力の再認識に繋がるイベントを開催。

【日程】 昼の部:令和6年12月7日(土)・12月8(日)・12月14日(土)・12月15(日)・12月21日(土)・12月22(日)  
夜の部:令和6年12月13日(金)・12月16(月)・12月20日(金)・12月23(月)

【会場】 首里城公園



## 昼の部:首里城復興ツアー＆ものづくり体験



## 夜の部:首里城ファンタジアナイト



# 首里城復興に係る寄附金の状況

## 沖縄県に寄せられた寄附金額（令和7年3月末）

**6,139,840,714円**

(内訳)

令和元年11月～令和4年3月 **5,541,420,099円**

(首里城復興基金／首里城火災復旧・復興支援寄附金)

令和4年4月～令和7年3月末 **598,420,615円**

(首里城未来基金／首里城歴史文化継承寄附金)

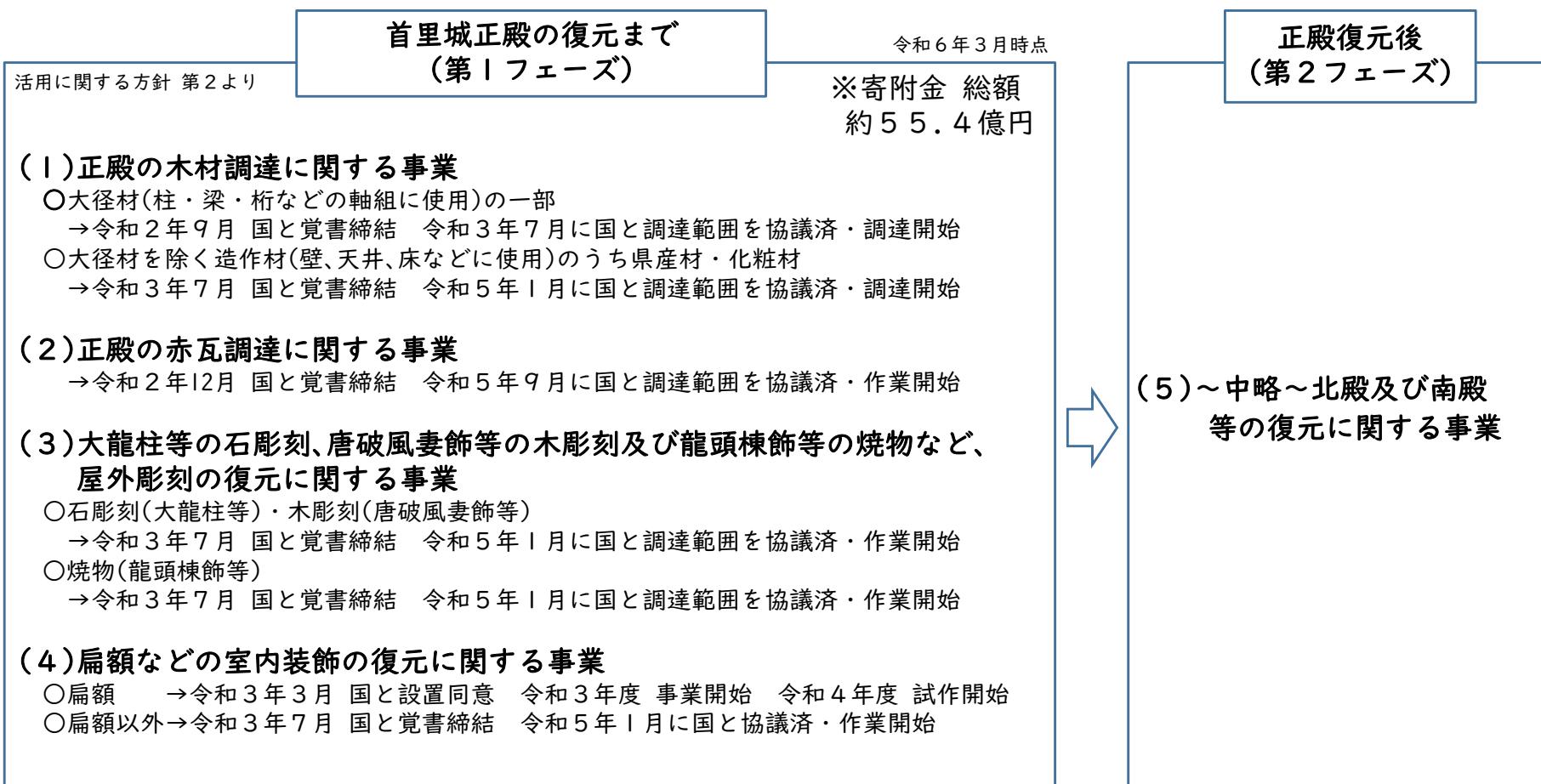
焼失した首里城復元への活用を目的とした「首里城火災復旧・復興支援寄附金」は、令和4年度の正殿工事復元着工を節目とし、令和4年3月末で受付を終了しました。これまでの皆さまの温かいご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。お寄せ頂いた寄附金は、「首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、焼失した城郭内施設等の復元に引き続き活用させて頂きます。活用状況は、マスコミ公開や県ホームページ等を通してご報告致します。

今後、県としては首里城に係る伝統的な建築等技術に係る人材育成、周辺の歴史まちづくり推進等、引き続き首里城復興に取り組んでまいります。これら施策の推進にあたり、令和4年4月以降は、新たに「首里城未来基金」を創設しました。首里城への思いを持つ皆様との連携・協働の一環として、引き続きご寄付を募集し、県事業と一体的に取り組んでいきたいと考えています。今後とも首里城復興へのご支援・ご協力を何卒よろしくお願ひ致します。

沖縄県首里城復興基金への寄附金は、令和3年度末時点で約55億円が寄せられており、正殿の木材、瓦、屋外彫刻、室内装飾等に活用することが決定している。

## 沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針 第1・第2より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の城郭内の施設等の復元に活用する。

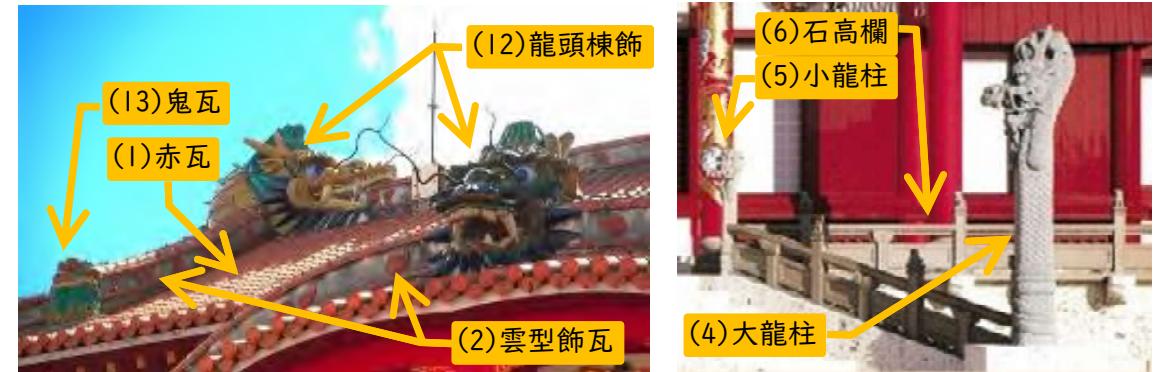


## 首里城復興基金(寄附金)の正殿における活用箇所

部位		種類	名称	搬入	
木材	-	大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材(県産)	R3-4	【首里城 ・寄附者 ・県内に 監修会議 各分野↓】
	-	大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床等)	R5-6	
赤瓦	(1)	赤瓦	瓦[正殿 約60,000枚] [金型・機材・環境整備]	R6	【瓦類 WG】
	(2)	瓦類	雲型飾瓦[約280個] (くもがたかざりがわら)	R6	
屋外彫刻	(4)	石彫刻	大龍柱/台石	R8	【彫刻 WG】
	(5)	//	小龍柱	R7	
	(6)	//	石高欄/持送石 (いしこうらん)	R7	
	(7)	//	礎石[105個] 礎盤[4箇所×3段]	R5	
	-	//	石階段	R7	
	(8)	木彫刻	懸魚(げぎょ)	R6	
	(9)	//	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)	R6	
	(10)	//	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)	R6	
	(11)	//	向拝 奥の彫刻物 (こうはい )	R6	
	(12)	焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)	R6	
	(13)	//	鬼瓦[4個] (おにがわら)	R6	
	(14)	瓦類	磚[約1,500枚] (せん)	R7-8	
					【瓦類 WG】
室内装飾	(3)	漆芸	扁額[3点](へんがく) [共同作業場]	R8-	首里城扁額 製作検討委員会
	(15)	垂飾	I階 御差床垂飾(瓔珞) (うさすかたれかざり)	R8	
	(16)	造作・彩色	I階・2階 台御差床 (だいうさすか)	R7	
	(17)	造作・彩色	2階 御差床 (うさすか)	R6	
					【彫刻 WG】

## 【首里城復興基金事業の対象選定の考え方】

- ・寄附者(来訪者)の目につきやすい「象徴部」
  - ・県内に蓄積・継承されている伝統技術の活用に資するよう、県産材または県内職人が関わる箇所



【瓦類  
WG】



【彫刻  
WG



県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)

# 首里城復興基金による扁額の進捗状況【首里城扁額製作検討委員会】

県では、首里城正殿の二階に掲げられていた御書扁額3枚の製作に向けて、首里城正殿扁額製作検討委員会を設置し、令和3年度より仕様の検討及び製作・監修に取り組んでいる。

## 令和6年度の取組状況

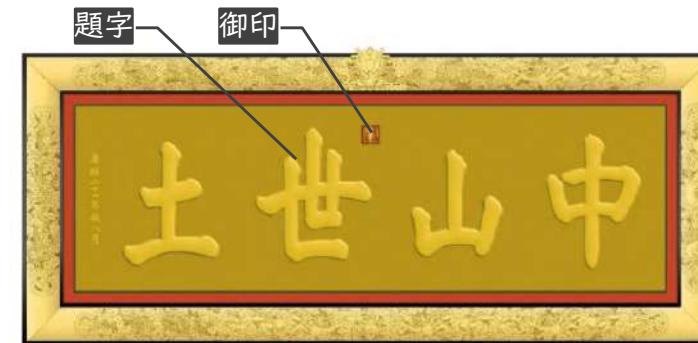
- ・扁額「中山世土」は、令和5年12月から本製作に着手し、令和7年度末の完成を目指し、各作業を進めている。
- ・2、3枚目の扁額「輯瑞球陽」「永祚瀛壻」の仕様検討を行い、2枚目「輯瑞球陽」の木工作業に着手した。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
木工			
彫刻			
髹漆・加飾			
正殿設置			■ ■ ■
状況			完成 設置

「中山世土」(1枚目) 本製作工程



扁額「中山世土」地板髹漆 本製作状況（中塗り）



扁額「中山世土」完成イメージ



扁額「中山世土」御印  
髹漆本製作状況（中塗り）

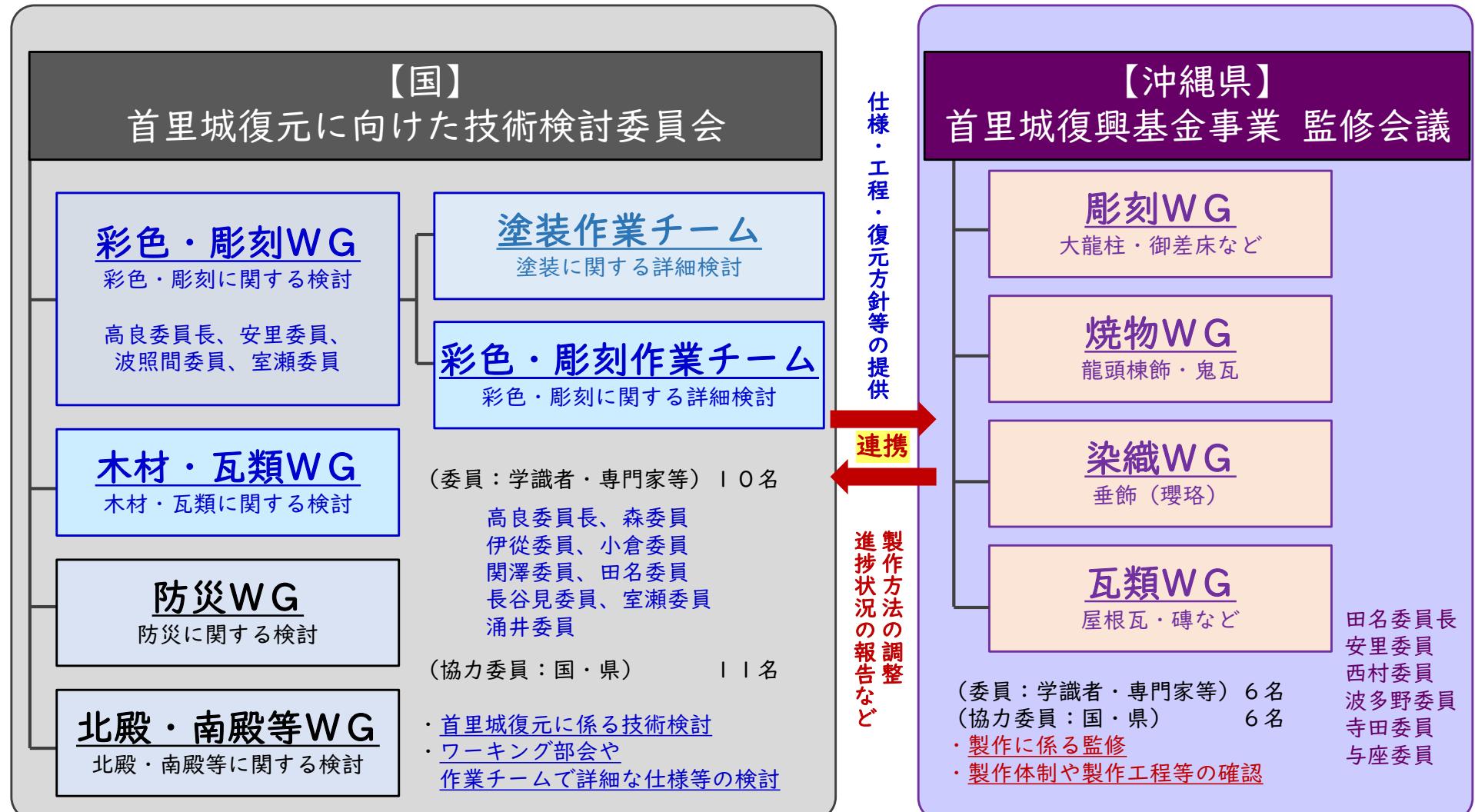


扁額「中山世土」題字髹漆 本製作状況（中塗り）



扁額「中山世土」額縁彫刻 本製作状況

**<目的>** 首里城火災からの復興を願う寄附金によって積み立てられた首里城復興基金を活用し首里城正殿の復元工程に合わせ、国から提供された仕様をもとに円滑に製作できるよう、首里城復興基金事業 監修会議（以下「監修会議」という。）を設置する。



県の会議と関係する会議

**<任期>** 2年更新（再任を妨げない）

# 監修会議とワーキング部会の構成と役割



- ・監修会議では、学識有識者6人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- ・監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「WG部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- ・各分野のWG部会には、技術継承を図るため、若手を1名程度含める。

## 首里城復興基金事業 監修会議 【年2回程度開催】

製作及び監修方針をとりまとめる場

- (1)製作体制及び製作作業工程に関すること。
- (2)監修方法及び監修頻度に関すること。

委員	歴史(琉球史)	田名 真之	前沖縄県立博物館・美術館 館長（委員長）
	歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
	彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
	染織	寺田 貴子	活水女子大学 特別専任教授
	瓦類	与座 範弘	元 沖縄県工業技術センター 所長

※協力委員6人（県・国の関係部局より）

各分野の  
WG部会

### 彫刻WG部会

大龍柱・御差床など

西村 貞雄  
波多野 泉  
砂川 泰彦★

歴史系委員1名以上  
製作技術者の代表

### 焼物WG部会

龍頭棟飾・鬼瓦

西村 貞雄  
波多野 泉  
森 達也★  
山田 聰★

歴史系委員1名以上  
製作技術者の代表

### 染織WG部会

垂飾（瓔珞）

寺田 貴子  
早瀬 千明★

歴史系委員1名以上  
製作技術者の代表

### 瓦類WG部会

屋根瓦・磚など

与座 範弘  
花城 可英★

歴史系委員1名以上  
製作技術者の代表

【年2回程度+適宜開催】

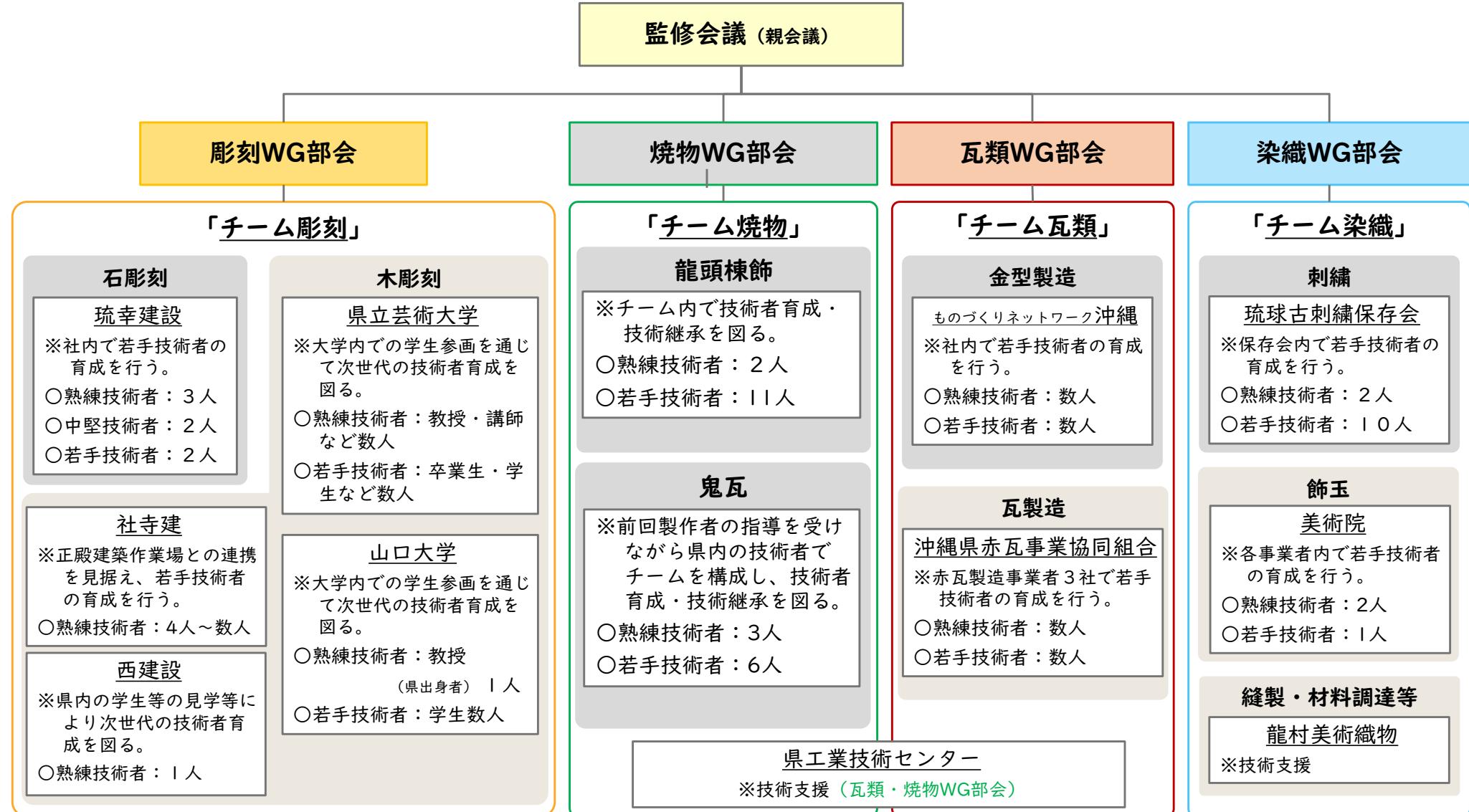
製作や監修方法等の詳細検討

分野別の専門家（2～3人）、歴史系委員1人以上、製作技術者の代表で構成

※WG部会のみ参加の学識者は★

# 今回復元における製作体制について(R7.3時点)

- 前述までの方針を踏まえ、今回復元の製作体制について、各WG部会での検討は以下のとおり。
- 製作体制への参加が限られるため、技術継承の裾野を広げるためにも、製作記録の活用を含めて、情報発信等については別途検討する。



# 【彫刻WG部会】石彫刻の進捗状況

- 石彫刻及び石工事の進捗状況は、下表のとおりである。



親柱上の獅子



番号	製作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
1	礎盤（向拝の柱の礎盤、礎石含む）	令和5年9月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
2	礎石（外周柱用/内側柱用/束柱用）	令和5年7月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
3	大龍柱	令和8年4月頃	ねじれの表現など	製作中
4	大龍柱の台石	令和7年9月頃	なし（前回踏襲）	荒加工済
5	小龍柱	令和7年9月頃	腹板の数、ねじれの表現など	製作中
6	石高欄及び登高欄 親柱上の獅子	令和7年9月頃	獅子の顔及び体の向き、獅子の造形など	製作中
7	石高欄（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石）	令和7年9月頃	なし（前回踏襲）	製作中
8	持送石	令和7年9月頃	なし（前回踏襲）	製作中
9	地覆石	令和5年7月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
10	石階段（正面階段1、階段2,3,5,6,7,8）	令和7年9月頃	なし（前回踏襲）	材料調達、荒加工済



大龍柱 吻形  
(2024.11/19撮影)



小龍柱 阿形  
(2024.11/19撮影)



石高欄\_逆蓮頭  
(2024.11/19撮影)



石高欄及び持送石  
(2024.11/19撮影)



親柱上の獅子  
(2025.3/7撮影)

# 【彫刻WG部会】木彫刻の進捗状況



- 木彫刻及び造作の進捗状況は、下表のとおりである。

番号	製作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
11	唐破風 妻飾（火焰宝珠、蟇股、金龍、瑞雲）	令和7年1月頃	龍の手足の火焰の形や蟇股の木取り・彫り方	国へ引渡し済
12	唐破風 懸魚	令和6年6月頃	蕪と鰐の構成（今回は反映なし）	国へ引渡し済
13	入母屋破風 懸魚	令和6年6月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
14	向拝 透欄間（牡丹唐草、獅子）	令和6年10月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
15	向拝奥の彫刻物（牡丹に獅子・唐草）	令和7年1月頃	意匠に獅子も含まれていた等	国へ引渡し済
16	向拝奥の彫刻物（金龍）	令和6年12月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済 (2025.4月に埋木)
17	向拝奥の彫刻物（獅子）	令和7年1月頃	獅子の大きさ・姿勢	国へ引渡し済
24	2階 御差床 須弥壇（高欄含む）	令和6年10月頃	親柱・しまこ柱の形状	国へ引渡し済
25	2階 御差床 龍柱	令和6年9月頃	胴体（腹板）のねじれ等	国へ引渡し済
26	2階 御差床 羽目板	令和6年7月頃	栗鼠の姿勢（漆器事例）、図案配置	国へ引渡し済
27	2階 天井額木	令和5年8月頃	火焰宝珠の形態	国へ引渡し済
28	2階 内法額木	令和6年9月頃	火焰宝珠の形態、龍の足の向き	国へ引渡し済
29	1階、2階 台御差床	令和7年12月頃	なし（前回踏襲）	材料乾燥中
30	国王専用階段（おちょくい）内部手摺	令和6年12月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済 (設置時引渡し部材有)
31	2階 外部窓手摺	令和6年12月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済



# 【焼物WG部会】龍頭棟飾の進捗状況



- 造形は、今回高精細化できた鎌倉古写真(大正11年撮影)をもとに、下地型(110%サイズ)製作時には、大棟2回、唐破風3回の監修を行い確定した。
- 下地型の上に重ねて石膏凹型を製作し、それを裏返して陶土を叩きこむ「陶土型起こし」の作業を実施。その後、石膏凹型から離型した陶片は、型抜きを考慮し下地型で甘くしていた箇所の彫込み、内側に裏足の形状を付ける等しつつ、水分調整を適切に行い乾燥を進め、素焼き・施釉・焼成を実施。
- 釉薬は、県産原料を主体に用いることとし、色味は鬼瓦とも整合性を持たせた。
- 令和6年8月より、陶片を複数個組み合わせての仮組を順次進めつつ、個々の陶片の微調整を行いながら、陶片等の引渡しを順次行っている。(唐破風・大棟の吽形は引渡し済)



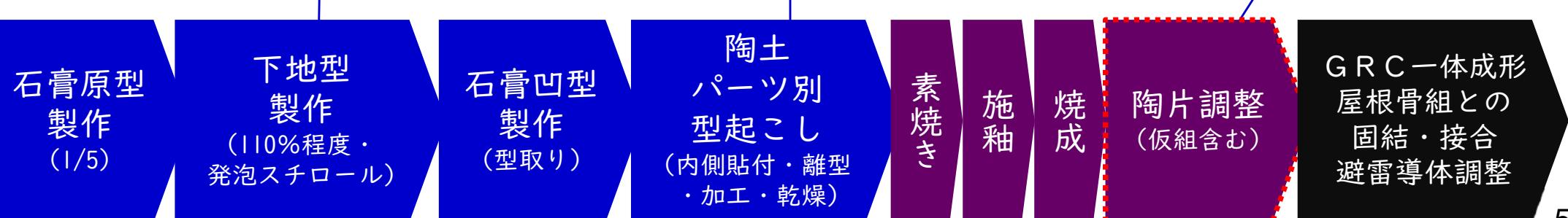
▲龍頭棟飾(大棟) 下地型 ※阿吽形共通



▲陶土型起こし(角部)



▲龍頭棟飾(唐破風) 仮組状況



# 【焼物WG部会】鬼瓦の進捗状況

- ・鬼瓦の造形は、今回高精細化された鎌倉古写真(大正11年撮影)をもとに、阿吽形とも見直しが必要なため、原型を再作成することとし、粘土原型の段階で3回の監修を行い、石膏原型を製作。
- ・鬼瓦の陶土は、令和5年にうるま市内にて確認された“石川白土”の活用を見据え陶土開発を行い、石川白土と谷茶土(恩納村産)の配合を基本に、釉薬は一部を伝統釉で県産原料主体とすることとした。
- ・平成復元と同様の成形方法だと、ひび割れの発生等が確認され、分割成形で作業を進めることとなった。
- ・令和6年8月より手びねりによる造形作業を開始し、12月より施釉・焼成作業を開始し、大型の上下分割で多種釉薬のため、濃度調整や施釉手順やマスキング、温度管理等の詳細を検討した。
- ・令和7年1月からGRC塗布を開始し、鬼瓦の年度内の引渡しに向け作業を行っている。



▲素焼き後の状況(吽形)



▲焼成後の釉薬発色等の監修状況(阿形)



▲GRC塗布の状況（阿形下部）

粘土原型  
製作

石膏原型等  
製作  
(110%)

手びねり成形  
(内側加工・乾燥)

素  
燒  
き

施  
釉

燒  
成

GRC塗布  
での陶片と  
一体成形

赤瓦上の  
固定・据付

# 【染織WG部会】垂飾(琉球古刺繡など)の進捗状況

- ・刺繡は瑞雲文と龍文は本製作を開始しつつ、火焰宝珠文は部分試作で検討。



# 【染織WG部会】垂飾(飾玉など)の進捗状況

【参考】平成復元時

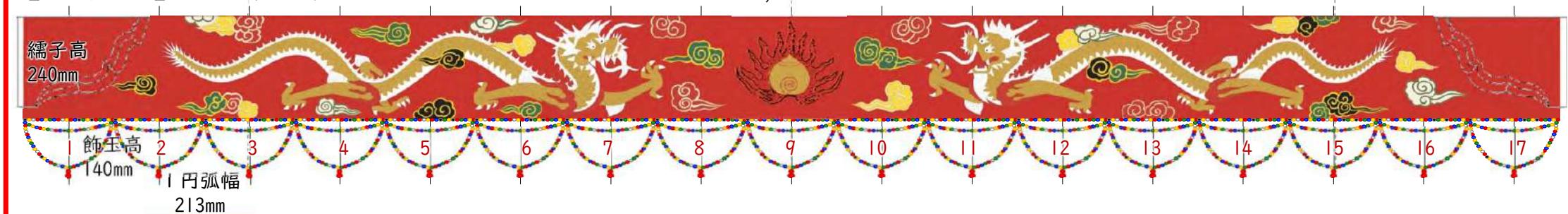
[吽]黄4青4白1赤5黒5 [阿]黄4青4白3赤5黒5 計40個



【瑞雲配色】左右非対称

3,627mm

[吽]黄3青4白3赤4黒3 [阿]黄4青4白2赤4黒3 計34個



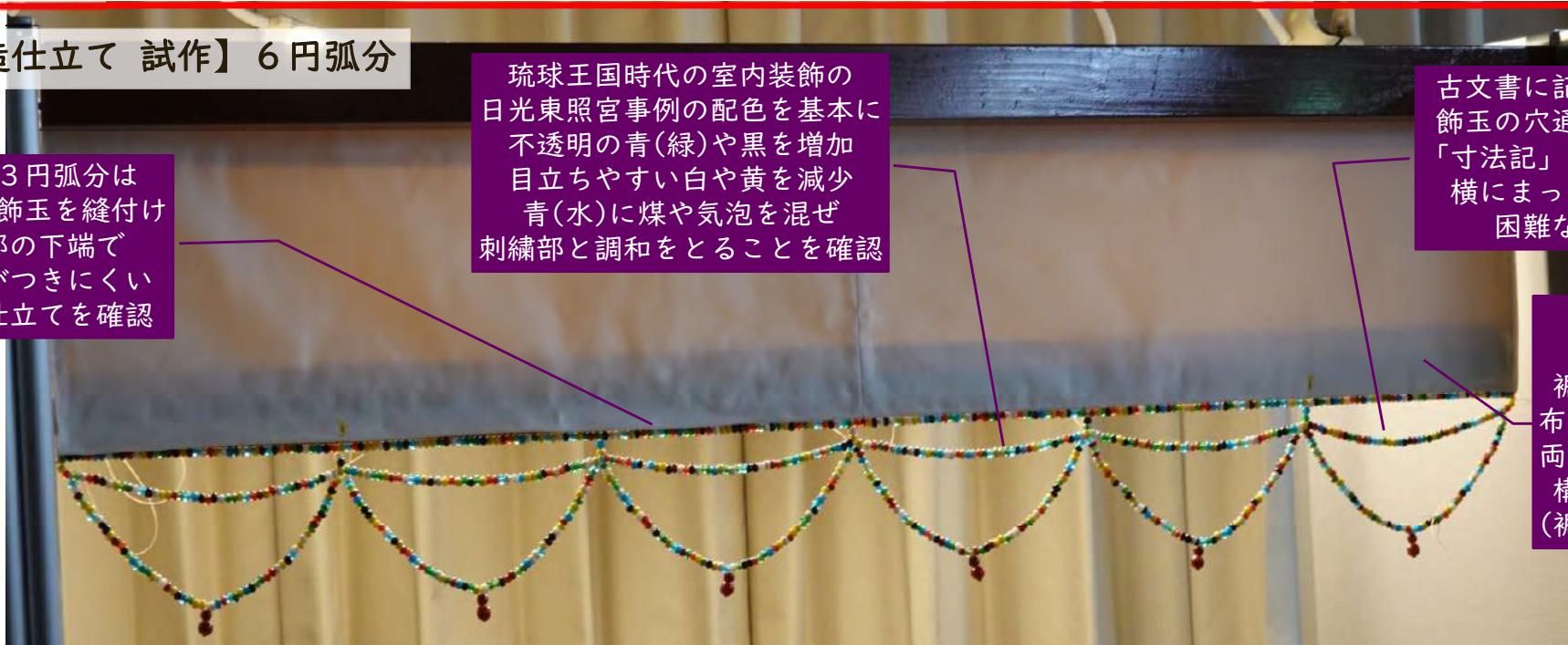
【飾玉・構造仕立て 試作】6円弧分

左側3円弧分は  
内布に飾玉を縫付け  
布部の下端で  
シワがつきにくい  
構造仕立てを確認

琉球王国時代の室内装飾の  
日光東照宮事例の配色を基本に  
不透明の青(緑)や黒を増加  
目立ちやすい白や黄を減少  
青(水)に煤や気泡を混ぜ  
刺繍部と調和をとることを確認

古文書に記載の三線男糸で  
飾玉の穴通り等も良好だが  
「寸法記」のように2列とも  
横にまっすぐに編むのが  
困難なことを確認

布部の下端部の  
内布を袋上にし  
裾板を通すことで  
布部の下部の張りを  
両端まで一様にする  
構造仕立てを確認  
(裾板は要角落とし)



# 【瓦類WG部会】赤瓦の進捗状況

- ・県内製造した赤瓦、雲形飾瓦を令和6年7月から首里城正殿に搬入し、首里城正殿の屋根に赤瓦が葺かれた。



赤瓦の焼成



正殿への搬入(R6.7.15)



赤瓦、雲形飾瓦施工状況(R7.1.29)



赤瓦金型の県内製造※



軒瓦の瓦当部一体成形※と乾燥状況



雲形飾瓦の製造状況(R6.8月)

※「赤瓦金型の県内製造」及び「軒瓦の瓦当部一体成形」は、関係者との調整や検討による令和の復元での新たな取り組み

# 県による首里城復興基金での正殿復元に用いる木材の調達

令和5年から大径材等を県で調達し、正殿に搬入。

## ■ヒノキ[大径材]

- 柱材 令和5年1月～3月に全4回で搬入(計165本)
- 小屋丸太梁 令和5年3月に全2回で搬入(計4本)



## ■イヌマキ[大径材]

- 向拝柱用として、令和4年1月に収穫し、  
令和5年3月14日に搬入(計6本)



オキナワウラジロガシをご提供いただいた地域の方々へ端材を活用して御礼  
(首里城とのつながりを示す展示物)

## ■オキナワウラジロガシ[大径材](県産材)

- 小屋丸太梁用として、令和4年2月上旬に  
収穫し、令和5年3月24日に搬入(計3本)

## ■造作材など

- 令和5年7月～令和6年10月まで搬入

### <主な産地>

- |          |          |
|----------|----------|
| ・ヒノキ     | 奈良、三重    |
| ・ヒノキアスナロ | 青森       |
| ・スギ      | 熊本、奈良    |
| ・イヌマキ    | 長崎ほか九州各地 |

→県産イヌマキは台御差床や国王専用階段手摺などで部分的に使用

- |       |    |
|-------|----|
| ・クスノキ | 埼玉 |
|-------|----|

→県産クスノキは向拝奥の彫刻物(金龍)で部分的に使用



県産イヌマキ製材確認



県産クスノキ調達状況

- ・首里城復興基金への寄附受付は、令和3年度末を以て終了。
- ・引き続き首里城を思う国内外の多くの皆様と連携・協働し、一体的に復興へ取り組むため、令和4年度から下記の基金・寄付金を創設した。

## 「首里城未来基金」の活用先について

首里城に象徴される固有の歴史と文化の継承を目的としており、  
県が令和2年度に策定した「首里城復興基本計画」の  
基本施策に位置づけられている以下2つの事業が対象となります。



I

首里城復興基本計画  
基本施策5(1)

伝統的な建築等の技術に  
係る人材育成事業

伝統的な建造物木工(宮大工等)、  
彫刻、塗装・彩色等の  
技術者育成

II

首里城復興基本計画  
基本施策6

古都首里の歴史的空間  
創出に係る事業

首里城周辺の歴史・文化施設整備、  
首里城城壁等の修復、  
歴史まちづくり推進等



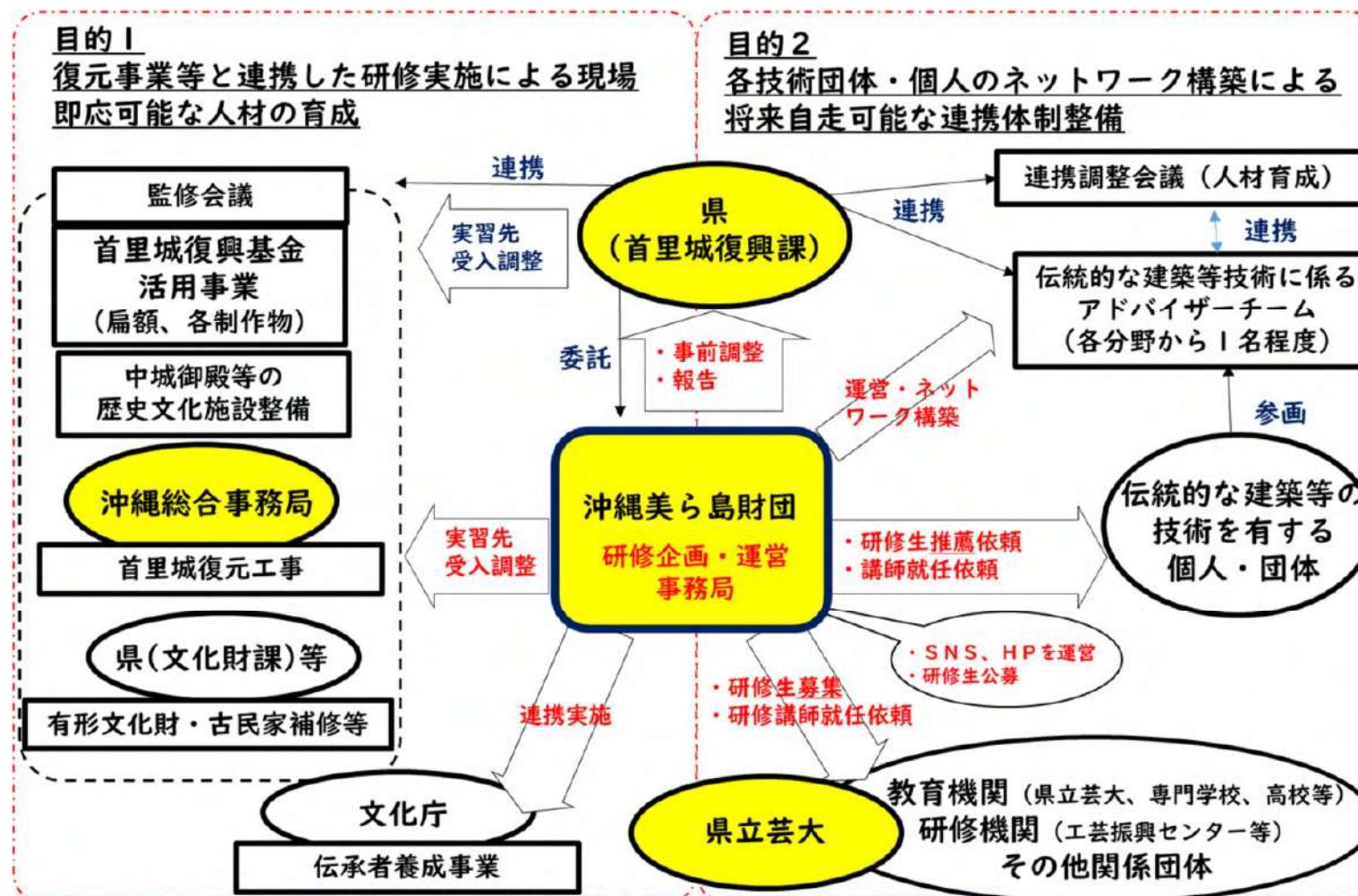
# 首里城歴史文化継承基金事業 (R5~)

内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、(一財)沖縄美ら島財団、県立芸術大学は、正殿や北殿・南殿等の焼失建物の復元、さらに復元後の保存修復等に必要となる伝統技術を継承すべく、復元、保存修復等の技術を有する人材の育成を進めるため、連携協定を締結。

首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定締結式  
令和4年11月22日 @首里城公園情報展示室



## 首里城未来基金を活用し、伝統的な建築等技術に係る人材育成に取り組む



# 首里城歴史文化継承基金事業（伝統的な建築等技術に係る人材育成）

## R6年度研修概要

内 容：座学<sup>(※)</sup>、実習、首里城復元現場及び先進地視察  
(※文化財概論、積算について、木彫刻技術、「琉球建築」の特徴と技術 等)  
期 間：令和6年9月～令和7年3月  
人 数：建造物木工分野 4名、木彫刻分野 1名

## 令和6年度研修状況

### 建造物木工実習

沖縄伝統建築の屋根構造について、仕口の加工・組立てを学ぶ実習



### 木彫刻実習

首里城正殿に施される木彫刻装飾（透かし欄間）をモチーフとし彫刻技術を学ぶ実習



### 復元現場視察

首里城正殿復元工事現場及び髹漆作業場等、首里城正殿復元現場の視察



### 先進地視察

金沢城公園の復元建築や首里城正殿唐破風妻飾の彫刻作業場の視察（石川県、富山県）



# 首里城歴史文化継承基金事業（古都首里の歴史的空間創出、世持橋高欄整備）

## 事業概要

内 容：首里城周辺の歴史文化資源の再現整備として、龍潭近くの世持橋高欄の製作工事を実施。  
期 間：令和6年度～令和7年度  
仕 様：龍潭側の高欄を整備対象とし、遺物と同じニービ素材（細粒砂岩）で、特徴である羽目の優れた彫刻を含め、往時の姿をできるかぎり再現する。

## 世持橋の位置・古写真等



# これまでの県・国の動向

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

※関係主体欄の「美」は、(一財)沖縄美ら島財団

	年月日			
2021年	3月20日 ～4月18日	国	県	美
	4月1日	国		
	4月23日	県		
	5月20日	国		
	5月25日	国	県	
	6月1日	県		
	6月2日	国	県	
	6月7日	県		
	6月9日	国	県	
	6月14日～ 7月16日	県		

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日		
2021年	6月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	6月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	7月7日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	7月14日	国 県	令和3年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	7月15日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	7月16日	国 県	令和3年度 第1回 首里杜地区整備検討委員会
	7月19日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興推進本部会議 → 首里城復興基金(寄附金)を活用し、県が石彫刻等の制作物、木材(小径材、造作材)、赤瓦(せん瓦、雲型飾瓦)などを調達・製作することについて、国に協議を申し入れる旨を決定
	7月20日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第3回会合
	7月26日	国 県	令和3年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	7月27日	国 県	令和3年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	7月30日	国 県	「首里城正殿復元工事に用いる制作物の譲渡に関する覚書」を締結 → 7/19に申し入れた協議について合意

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2021年	8月13日	国	県	令和3年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	8月13日	国		首里城御庭の磚(せん)瓦の撤去作業を公開
	9月15日	国	県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	9月22日	県		第32軍司令部壕のドローン測量調査を公開
	9月29日	国		首里城御庭の北殿北側見学デッキの整備状況を公開
	9月30日	国	県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	10月3日	県		首里城再興学術ネットワークシンポジウム2020開催（県立芸術大学・琉球大学との共催）
	10月5日	国	県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	10月8日	県		首里杜館の大型ディスプレイ、映像コンテンツ公開
	10月14日	県		令和3年度 第2回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	10月21日	国	県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2021年	10月27日	国		首里城御庭の北殿北側見学デッキを一部供用開始
	10月28日	国	県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
	10月30日～ 11月3日	国	県	令和3年度 首里城復興祭（主催：首里城祭実行委員会）
	10月30日	県		令和3年度 首里城復興イベント（10月30日・31日・11月3日）
	11月1日	県		琉球歴史文化の日 制定記念式典 → 沖縄の歴史・文化への理解を深め、次世代に継承し、新たな歴史と文化の創出に向けて 令和3年度より制定。
	11月2日	県		令和3年度 第2回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	11月3日	国	県	玉城知事が首里城の現場を視察
	11月6日～ 11月14日	国	県	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア募集（最終）
	11月9日	国	県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	11月10日	国	県	令和3年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	11月16日	国	県	首里城復興DX共創ラボのオープン（連携協定：SCSK株式会社）
	11月22日～ 1月7日	県		首里城火災破損瓦等の利活用アイディア募集（令和3年度2次募集） → 今回から瓦の種類を追加し、石材も利活用募集を開始

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日		
2021年	12月1日	国	県
	12月21日	国	県
	12月24日	国	県
	12月27日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第4回会合
2022年	1月13日	国	県
	1月19日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	1月24日	県	令和3年度 第3回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	1月28日	国	県
	1月30日	国	首里城復元に向けた技術検討委員会 報告会
	1月31日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興推進本部会議 → ①首里城火災復旧・復興支援寄附金の受入終了(R4.3.31)、②首里城復興への新たな基金の創設、③正殿への県産木材の使用変更について決定。
	1月31日	国	県
			令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2022年	2月2日			第1回 令和首里城復興イベント実行委員会
	2月3日			令和3年度 第2回 首里杜地区整備検討委員会
	2月3日～3月1日			「首里城公園管理体制構築計画(案)」に対する県民意見等を募集
	2月17日			首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 防災ワーキンググループ会議
	2月24日			首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	2月28日			国頭村立安波小学校でのオキナワウラジロガシ苗木づくり
	3月1日			正殿塗装の顔料である「久志間切弁柄」の塗装実験を公開
	3月2日			首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	3月4日			令和3年度 首里城復興イベント(3月4日～6日・12日・13日)
	3月8日			令和3年度 第3回 首里城扁額製作検討委員会

## 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2022年	3月10日	 		令和3年度 第3回 首里杜地区整備検討委員会
	3月16日	 		令和3年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月17日	 		令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月23日			沖縄県議会で「沖縄県首里城歴史文化継承基金条例」が全会一致可決 → 首里城未来基金への寄附金の受入開始(令和4年4月1日～)が正式決定
	3月24日	 		令和3年度 第3回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月28日			令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第5回会合
	3月			「中城御殿整備基本計画」を改定

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2022年	4月		「首里杜地区整備基本計画」を策定	
	4月		「首里城公園管理体制構築計画」を策定	
	4月1日		首里城未来基金(沖縄県首里城歴史文化継承基金)への寄附金受付を開始	
	6月7日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻ワーキンググループ会議	
	6月22日	 	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議	
	7月6日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回木材・瓦類ワーキンググループ会議	
	7月21日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回北殿・南殿等ワーキンググループ会議	
	8月1日	 	令和4年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会	
	8月3日	  	首里城復興ボランティア:赤瓦シャモットづくり(8月3日～11月30日)	
	8月9日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議	

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日		
2022年	8月25日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	9月14日	国 県	令和4年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	9月21日	県 那 地	令和4年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	9月28日	国 県	令和4年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	10月3日	国 県	令和4年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	10月25日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	10月29日	県 国頭	令和首里城復興イベント木曳式「国頭フェスティバル」「木曳パレード」開催
	10月30日	県 那	令和首里城復興イベント木曳式「那覇フェスティバル」開催
	11月3日	県 美 地	令和首里城復興イベント木曳式「首里城木遣行列」「木遣イベント」「首里城復興祭」開催
	11月3日	国	首里城正殿復元整備工事 起工式開催

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2022年	11月9日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻ワーキンググループ会議	
	11月13日	 	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2022開催（琉球大学、県立芸術大学と三者共催）	
	11月22日	  	首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定の締結	
	11月25日		首里城図柄入り自動車ナンバープレートのデザイン決定	
	11月29日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回木材・瓦類ワーキンググループ会議	
	12月6日	 	令和4年度 第1回 首里城復興基金事業 監修会議	
	12月16日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議	
2023年	1月13日	  	首里城復興ボランティア：うるし塗り原料「ニービの粉」製作（1月13日～5月14日）	
	1月24日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回彩色・彫刻ワーキンググループ会議	
	2月8日	 	令和4年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会	

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日		
2023年	2月18日		令和4年度 首里城復興イベント(2/18・2/19・2/25・2/26・3/4・3/5)
	2月22日	 	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	3月2日	 	令和4年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月7日	 	令和4年度 第2回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月9日	 	令和4年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月15日	 	令和4年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月16日	  	首里城復元における技術継承・人材育成 第1回連携調整会議
	3月17日	 	令和4年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月23日	 	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会
	3月24日	  	令和4年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2023年	5月18日	 	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議	
	6月12日	 	令和5年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会	
	6月16日	 	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議	
	7月13日	 	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回北殿・南殿ワーキンググループ会議	
	7月20日	 	令和5年度 第3回 首里城復興基金事業 監修会議	
	7月21日	  	首里城復興ボランティア：うるし塗り原料「ニービの粉」製作（7月21日～9月8日）	
	8月8日	 	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議	
	8月31日	  	令和5年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会	
	9月5日	 	令和5年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会	
	9月9日		特別公開（立柱記念イベント）9/9～9/10	
	10月10日	 	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回北殿・南殿ワーキンググループ会議	

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2023年	10月11日	 		令和5年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	10月23日			首里城図柄入り自動車ナンバープレート発行記念イベント
	10月27日			首里城破損瓦ものづくりイベント(10/27～10/29)
	10月29日	 		首里城再興学術ネットワークシンポジウム2023開催 (琉球大学、県立芸術大学と三者共催)
	11月3日			首里城復興祭(11/3～11/5)
	11月15日	 		令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	12月9日			令和5年度 首里城復興イベント(12/9～2/10)
	12月15日	 		令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	12月20日	 		令和5年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	12月21日	 		令和5年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日			
2024年	1月18日	 	令和5年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会	
	1月23日	 	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回北殿・南殿等ワーキンググループ会議	
	2月17日		令和5年度 首里城復興イベント(2/17～2/18)	
	2月21日	 	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議	
	2月23日	  	端材弁柄塗り体験イベント(2/23～3/3)	
	2月29日	 	令和5年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会	
	3月7日	 	令和5年度 第4回 首里城復興基金事業 監修会議	
	3月15日	  	首里城復元における技術継承・人材育成 第2回連携調整会議	
	3月21日	 	令和5年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会	
	3月22日	 	令和5年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会	
	3月26日	  	令和5年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会	

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日		
2024年	5月17日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	5月25日	国	上棟記念イベント(5/25～5/26)
	6月6日	国 県 那 美	令和6年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	6月14日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	7月30日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	9月18日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	9月19日	国 県	令和6年度 第5回 首里城復興基金事業 監修会議
	9月19日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成 第3回 連携調整会議
	9月25日	国 県	令和6年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	10月9日	国 県	令和6年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	10月14日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2024開催 (琉球大学、県立芸術大学と三者共催)

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日	
2024年	10月18日	国 県 那 令和6年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	10月29日	国 県 那 美 令和6年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	11月2日	国 県 那 美 中城御殿起工式・覚書調印式
	11月2日	美 首里城復興祭（11/2～11/4）
	11月6日	県 那 地 令和6年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	11月7日	国 県 令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	11月24日	県 令和6年度 県民等参画促進イベント（商業施設での首里城復興「お出かけ講座」） (南部11/24,中部11/30,北部1/26,久米島2/16)
	11月28日	県 那 令和6年度 第1回 龍潭周辺整備検討部会
	12月7日	県 令和6年度 首里城復興イベント (昼の部：12/7・8,12/14・15,12/21・22 夜の部：12/13～12/16,12/20-12/23)
	12月20日	国 県 令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	12月24日	県 那 令和6年度 第2回 龍潭周辺整備検討部会

# 県・国の動向（2021年4月～2025年3月）

	年月日	
2025年	1月10日	国 県 那 美 令和6年度 第1回 中城御殿エリア検討部会
	1月20日	国 県 那 令和6年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	1月28日	国 県 令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 北殿・南殿等／第3回 防災合同ワーキンググループ会議
	2月12日	県 那 令和6年度 第3回 龍潭周辺整備検討部会
	2月13日	国 県 美 首里城復元における技術継承・人材育成 第4回 連携調整会議
	2月21日	国 県 令和6年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月6日	国 県 那 美 令和6年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月12日	国 県 令和6年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月13日	国 県 令和6年度 第6回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月21日	県 那 地 令和6年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

## 東のアザナより正殿方向を見る

---



R7.4撮影